日 日 一般管理費	予		2	款	総務費	絵						復	()		
1 目 一般管理表	算科		1	項	総務管理費	合計	第	2 節	市民する	Rのまちづくり る関心を高める	に対	興計	()		
事業コード			1	目	一般管理費	画	(1)			を推	画	()		
より良いまちづくりをめざし、市民からの意見・提案を市政に反映するため、市政提案・蓄情等意の受け付け、原情・要望の受け付け、バブリックコメント、市政教室、まちづくり懇談会、市民意識室の元誌事業を実施する。 1 市政提案・・・・25件 2 苦情等・・・・68件 3 陳情・要望・・・47件 復興政策制作・数音の表と支所1件、技能を含支所1件、生活環境部2件、健康部1件、福祉部4件、産業部3件、建設部3件、独有委員会2件、河北総合支所4件、建議総合支所1件、株生総合支所1件、北上総合支所1件、大理公司、第4年の1年、1年を含支所1件、大理公司、第4年の1年、1年を含支所1件、大理公司、第4年の1年、1年、1年、1年、1年、1年、1年、1年、1年、1年、1年、1年、1年、1					P 14	中	事	業	広聪	恵事業関係費						
の受付付け、除情・要望の受け付け、バブリックコメント、市政教室、まちづくり懇談会、市民意識金の広聴事業を実施する。 1 市政提案・・・・25件 2 苦情等・・・・68件 3 陳情・要望・・・47件 復興政策部3件、総務部7件、財務部1件、復興事業部1件、生活環境部2件、健康部1件、福祉部4件、産業部6件、雑食部9件、教育委員会2件、河北総合支所1件、建建総69件、北上総合支所1件、社庫総合支所1件 4 バブリックコメント・34件の計画に対する意見募集 (1) 石巻市立小・中学校学区再編計画 (業) (2) 第3朔石巻市中心市街地店性化基本計画 (業) (3) 第2朔石巻市中心市街地店性化基本計画 (業) (3) 第2朔石巻市中心市街地店性化基本計画 (業) (5 市政教室・・・・10回実施、募集人数201人、参加と数136人(参加割合67.7%) (6 まちづくり懇談会・・・6回実施、152と出席 7 市民意識調査・・・調査期間 令和元年7月5日~7月26日 調査対象者数2、700人 回り変 1,115件(回収率 41.3%) 調査項目 (1) 東日本大震災に伴う復旧・復興事業について (2) SDS (特技市総お開発目標)について (3) 石巻市の環境について (4) 石巻市被合文化施設で開催する事業について (5) 運動・スポーツについて (6) (仮称) 石巻市接合文化施設で開催する事業について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事	業コ	1—1	*	001-002-001-00005	事	業	名	広聪	恵事業						
2 苦情等・・・・・68件 3 陳情・要望・・・・47件 復興政策部3件、総務部7件、財務部1件、復興事業部1件、生活環境部2件、健康部1件、福祉部4件、産業部8件、建設部9件、教育委員会2件、河北総合支所1件、桂座総合支所1件、社座総合支所1件、社座総合支所1件、社座総合支所1件、社座総合支所1件、社座総合支所1件、社座総合大阪方(1件、基本計画(案) (2) 第3期石巻市中・市街地活性に基本計画(案) (3) 第2期石巻市・市・市田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田	目的及	及びヨ	事業	内容	の受け付け、陳情・要 査の広聴事業を実施す	望の受										
課と情報共有を図り、市の考え方や対応方法を各担当課及び市長から市民へ伝えることにより、市民 市政をより身近なものに感じ、市政への関心を高めることができた。 パブリックコメントについては、市の計画に対する意見を募集した結果、計85件の貴重な意見・提をいただき、各計画策定の参考とした。 市政教室については、市民が復興状況や市の新たな施設、民間企業等を見学することにより、市政の理解及び関心を高めることができた。 市民意識調査では、6項目の調査項目を設定し回答を分析したことで、今後の市政運営の基礎資料とすることができた。 広く市民の意見を聴くための広聴事業は、市民ニーズを把握し、市民の声を市政に反映させるため市と市民を繋ぎ、信頼関係を築きながら連携する上で重要なツールとなることから、必要な事業である。特に、「まちづくり懇談会」の開催については、市長が各地区に出向き、市民から直接意見や要望聴くことができるため、総合支所管内や半島沿岸部、新市街地の住民自治組織などと開催実施してい必要がある。 「単位:「	取	組	実	績	2 苦情等・・・・ 復興 から を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	・68件件 7条9牡 ト学心ど・・調調調 4件件7件教育・校市も10・査査査 5世末回・期対項	育合 件区記号施回引き1(2)(6)(6)を表すの再性ラ、実合巻1(2)(4)(6)	員升 計編化ン募施和文 東S石石運(会件 画計基・集1元 7 日D巻巻動仮	2件 対回本石人52〒700本G市市・称 対 (計巻数名月人大sの中ス)	河北総合支 東名 東名 東名 東名 東名 東名 東名 東名 東名 東名	4件 (育数 5旧開 化て化 (復目 つ 設)	雄勝 援人 回興標 い で開 事業参 率等に て 開係	会合 注か加 41. で	in (案) in (案) in (合67.1 .3%) on て s事業に	、桃生彩7%)	《合支所2件、
市と市民を繋ぎ、信頼関係を築きながら連携する上で重要なツールとなることから、必要な事業である。特に、「まちづくり懇談会」の開催については、市長が各地区に出向き、市民から直接意見や要望聴くことができるため、総合支所管内や半島沿岸部、新市街地の住民自治組織などと開催実施してい必要がある。 (単位:F 李算額 決算額 大算額 大算額の財源内訳 国(県)支出金 地方債 その他 一般財源	成			果	課と情報共有を図り、の 市政をブリカーションで がいたがですります。 をいたがいたさ では教をで で で で で で で で の で の で で の で り の で り の で り の で り の で り の で り の で り の で り の で り で り	市の考についていることにいることにいることにいることにいることにいることにいることにいることに	え、て考がが	やめ、しれのの しれの しれい しゃく	た方法 の関心 の計画	去を各担当課及 心を高めること 画に対する意見 市の新たな施設	び市野 ができ を募り 、 民間	長から きた。 集した 間企業	市民/ 結果、 等を!	へ伝え 、計85 見学す	ること(件の貴重 ること(こより、市民が 重な意見・提言 こより、市政へ
予算の執行状況 決算額 決算額 (県)支出金 地方債 その他 一般財源	成果	とに係	る言	平価	市と市民を繋ぎ、信頼 る。 特に、「まちづくり 聴くことができるため	関係を 懇談会	築き: 」の	ながら 開催に	ら連携 こつし	携する上で重要 ハては、市長が	なツ- 各地	-ルと:	なる。 向き、	ことか 、市民:	ら、必 <u>弱</u> から直持	要な事業であ 妾意見や要望る 崔実施していく
予算の執行状況 国(県)支出金 地方債 その他 一般財源												決算額	頃の則	け源内記	沢	(1 1-1
1, 215, 000 1, 140, 948 1, 140, 9	予算	の執	竹	犬況	予算額	ä	中算額	Ą	f	国(県)支出金	地	也方債		その	の他	一般財源
					1, 215, 000		1,	140, 9	948							1, 140, 94

- 1 -

予		2	款	総務費	総	第	章			復	()		
算 科 目		1	項	総務管理費	計画	第	節			興 計 画	()		
		1	目	一般管理費	Ш	()			Ш	()		
	1 目 実施計画ジ 掲載ペーード カ及び事業内:		,		中	事	業	功労者表彰・ネ	.遇者関係	費			
事	実施計画ジャード				事	業	名	市政功労者表章	事業				
目的及	及び∄	事業	内容	市の行政、経済、文 る善行があった個人・ ・市政功労会を候補 ・推薦委員の開催 ・表彰式の開催	団体を	表彰 薦依朝	し、 そ 頼			に寄	与し、又は	市民の	塻範と認められ
取	組	実			- ジ・12団 委と会 ・ 大田 第一	るの の 作 を で 者 さ 月 な り し り し り り り り り り り り り り り り り り り	民薦 催 善し た日ホ体へが カラック たり カラック カラ カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カ	あった。 れた方々を、市J 8名・12団体のi 々に表彰状及びi) 午後2時から	民の方々で 市政功労者 記念品を持	『構成 音が決	する推薦委 定された。	員会及	び部長等の市職
				市政のために尽力しらなる活躍が期待でき									
				年度別取組実績		H 27		H28	H29)	H30		R1
				市政功労者推薦者	数	1	15名	112名		128名		83名	129名
成			果	市政功労者決定者	数 93名	(80.	9%)	90名 (80. 4%)	102名 (79	. 7%)	74名 (89.	2%) 11	0名 (85.3%)
				表彰式出席者数	53名	(57.	0%)	52名 (57.8%)	60名 (58	. 8%)	39名 (52.	7%) 6	0名 (54. 5%)
受賞者に対し、その功績を讃えることにより、市政の振興と市政への参加意識の高揚が期待でとから、今後も継続して実施する必要がある。												庁内各課へ通知 れることから、	
													(単位:円)
字 答	·Ω**	3= v		予算額	ž	 快算額	Ą			決算額	頃の財源内	訳	
予算	.07靭	1T 1	八兀					国(県)支出	金 地	方債	そ(の他	一般財源
				574, 820			358, (199					358, 099

予		2	款	総務費	ŧ	総	第	章				復	()				
算 科		1	項	総務官	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	合計	第	節				興計	()				
目		1	目	一般管	管理費	画	()				画	()				
	能載べ					中	事	業	情報公開	推進費	'							
事	業コ	_	ř			事	業	名	情報公開	・個人情	報保護	事業						
目的及	ኒび [‡]	事業	内容		人情報保護 本	市の保	有する	る個ノ	知る権利 人情報の開 適正な取扱	示、訂正	及び和							⁺ると
				1 開	示請求の決定状	況				語句	対に対す	トス油・	宁笙					
					開示請求件	数 —	開	下	一部開		開示		存在	T	その他	Π	取下	\dashv
					情報公開 個人情報	100件 38件		29件 22件		件 件	1件 0件		6件 6件		0件 0件	_		3件 D件
				2 審	査請求の状況													
					審査請 求件数 取下	諮問	뙫	申	認容	査請求に 一部認容			却下		(年度			
					0件 0件	0件		0件	0件	0件)件	0作		0件			
取:	組	実	績	۴	報公開・個人情 令和元年度におり ライブレコーダー 報公開コーナー 利用件数	ハては、 −の設置	審査び況	請求 管理	等の諮問3 運用に関 [・] 利覧 (う		等のたのかの 内訳 料等の	め、審	査会	を2回		:]	動車·	^ Ø
					0021+			71	· IT		(3	201+)			3117	J		
成			果	報情資 個 利が	報公開 公文書の開示につ 公開の推進に取 報公開コーナーの 料等の複写や関リ 人個人の権力を を保護利益と できた。	り組むこ件 の利な で で で で に の も に の も に	と数市 防人	で 、 に 対 を 軽利	た。請求(年度(558 する情報 り、個人(利益を保	牛数は、i 件)と比 供 使 の 人 格 と り 人 格 と し た 円 え の し 、 と し た の り し 、 し 、 し 、 し 、 し 、 し 、 し 、 し 、 し 、 し	前年度 :較する 滑に行 尊厳の! り適切:	と は は は は は は は は は は は は は	度件が 寄情	100作 の80 きた した護	‡となっ ⁵ 。 2件となっ。 。 自己情 制度の運	ている ってす 報用を	る。 まらり、 求める	た、 行政 る権 こと
成果	に係	S a i	平価	必公し請究が施っては、一体では、一体では、一体では、一体では、一体には、一体には、一体には、一体には、一体には、一体には、一体には、一体に	W W W W W W W W W W W W W W	iに比較が するため 提供情報 いの が が が が が が が が が が が が が が が が が が	検い比を 、個人	し、2 31 利 (利 (利 (利 (大) (大) (大) (大) (大) (大) () (適正かつ近 年4月より 生の向上と ることが望 最の定義の り保護が図	l速な情報 リ、金 リ、 事ましい B 明 い の の の の の の の の の の の の の の の の の の	限公開 引のと が と びと びと が を を の と の の の の の の の の の の の の の の の の	事務に書の電域化事の電極の表面の表面の表面の表面の表面の表面の表面の表面の表面の表面の表面の表面の表面の	努子 5 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	る - た。 地里 眼和 の 利	とができる い っ う り の 短 級 が し の 短 が が り の 短 が が り り の り が い り し の り が り の り し り し の り し り し り し り し り し り し り	た。対象を表する。	ま是民の にれ	・情報かま りこりこう まんしょう しょうしょう しょうしょう まんしょう まんしょう まんしょう しょう はんしょう しょうしょう しょう はんしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しんしょう しょうしょう しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょくしょく しょく
																	単位	::円)
予算	の軸	ا ج∕د ا ج∕د	-: 4		予算額	ž	央算客	Ą				決算額	真の財	源内	訳			
」,并	マノ刊	¥1 J 1	へルに							:)支出金	地	方債	\perp	₹	の他		一般則	
					2, 606, 000		2,	162, 6	685						342, 410		1, 82	20, 275

予	2	款	総務費	総	第 1 章	ともに創る協働の	まち復	()		
算 科	1	項	総務管理費	合計	第 2 節	市民のまちづくり する関心を高める		()		
目	2	目	文書広報費	画	(1)	透明性の高い行政 進する	を推画	()		
	€施計値 載ペー		P14	中	事 業	広報活動費				
事	業コー	۴	001-002-001-00004	事	業名	「市報いしのまき	」発行事業			
目的及	及び事業	美内容	行政情報を広く市民 理解と協力を得るため :			∶して市報を作成し	、市民の市	下政への関	心を高め、	市政に対する
取	組実	績	· 各種行政情報	。 せな 那数月(・ 市 ・ 施 ・	ど多くの作 63,000部、 戦員の人事 政方針・・	情報を掲載し、市民	へ情報提供 12ページ し 日等救急当	**を行った	۰	募集、子育て
成		果	各種行政情報や市のめ、市民へ情報提供が今年度からは、全紙よう努めた。また、市内各地域の着情報を「まきチャン	図られフ おおい おおい おおい おおい おおい おおい おおい おおい おおい おお	た。 ルカラード をお知らt ブラス」 と	□変更し、文字や見せする「まちの話題」 さする「まちの話題」 こして紹介した。	出しにメリ	リハリをつ できなかっ	け、より記た、市全体	売みやすくなる 本または地域密
成果	に係る	評価	市報の発行にあたっくため、使用写真の芸し、市政に関する情報	析性を	高めること	や、より見やすく	読みやすし	\紙面構成	・言葉遣し	
							決算	額の財源	为 訳	(+ P · 17)
予算	の執行	状況	予算額	ž	夬算額	国(県)支出金	地方債	į .	その他	一般財源
			12, 969, 000		12, 593,	100		1:	2, 593, 100	
								•		

# 日 日 財産管理費	予	2	2 款	総務費	総	第	章			復	()		
大学組 大学	算		1 項	総務管理費	合	第	節			興	()		
現職	目	į	5 目	財産管理費	画	()			画	()		
行舎 1階商業施設の修繕・建設後20年以上経過し老朽化した本庁舎の1階商業施設の修繕を実施					中	事	業	庁舎管理費						
・建設後20年以上経過し老朽化した本庁舎の1階商業施設の移籍を実施する。 目的及び事業内容 「庁舎1階商業施設の移種を実施」 」 建築設備、電気設備、給排水設備の移種や内装を改修した。 取 組 実 積 「自も早い商業施設の再開を望む声が多く寄せられていたが、2年以上に渡り1階のキーテナントが決定しなかったが、企業誘致によりイオン東北側の出店が決定し、第20年以上経過し老朽化した庁舎1階商業施設を修繕した。その結果、中心市街地の服わいの割出や、近隣住民の利便性の向上が図られた。 成果に係る評価 本朽化した設備や内装を修繕し、企業誘致をしたイオン東北側や以前から出店していたテナントの一部が高業施設に出店し営業を開始したことにより、中心市街地の賑わいの割出や、近隣住民の利便性の向上が図られた。 本朽化した設備や内装を修繕し、企業誘致をしたイオン東北側や以前から出店していたテナントの一部が高業施設に出店し営業を開始したことにより、中心市街地の賑わいの割出や、近隣住民の利便性の同人が図られた。 本朽化した設備や内装を修繕し、企業誘致をしたイオン東北側や以前から出店していたテナントの一部が高業施設に出店し営業を開始したことにより、中心市街地の賑わいの割出や、近隣住民の利便性の同人が図られた。 「単位:円) 本符様、次算額 ・ 第4	事	業コ-	- F		事	業	名	本庁舎1階商業施記	殳修繕 事	業				
ア第の執行状況 ア第級 次算額 ア第級 次算額 アア (単位・円) 下金 (関係) 次算額 アア (単位・円) ア (単位・円)	日約1	ひが事	一类内容	・建設後20年以上		老朽(とし <i>†</i> :	-本庁舎の1階商業別	施設の値	修繕を	·実施	する	0	
1 建築設備、電気設備、給排水設備の修繕や内装を改修した。 取 組 実 積 1日も早い商業施設の再開を望む声が多く寄せられていたが、2年以上に渡り1階のキーテナントが決定しなかったが、企業誘致によりイオン東北郷の出店が決定し、築の年以上経過しを朽化した庁舎1階商業施設を修繕した。その結果、中心市街地の賑わいの創出や、近隣住民の利便性の向上が図られた。 成果に係る評価 本朽化した設備や内装を修繕し、企業誘致をしたイオン東北郷や以前から出店していたテナントの一部が商業施設に出店(営業を開始したことにより、中心市街地の賑わいの創出や、近隣住民の利便性の向上が図られた。 承集に係る評価 本特化した設備や内装を修繕し、企業誘致をしたイオン東北郷や以前から出店していたテナントの一部が商業施設に出店(営業を開始したことにより、中心市街地の賑わいの創出や、近隣住民の利便性の向上が図られた。 「単位:円) 「東京の執行状況 「東京の表行状況 「東京の表行派別 「東京の表行	日印龙	X O Ŧ	未內名	7										
1日も早い商業施設の再開を望む声が多く寄せられていたが、2年以上に渡り1階のキーテナントが決定しなかったが、企業誘数によりイオン東北梯の出店が決定し、築20年以上経過し老朽化した合き1階商業施設を修繕した。その結果、中心市街地の賑わいの創出や、近隣住民の利便性の向上が図られた。 本朽化した設備や内装を修繕し、企業誘数をしたイオン東北横や以前から出店していたテナントの一部が商業施設に出店し営業を開始したことにより、中心市街地の賑わいの創出や、近隣住民の利便性の向上が図られた。 成果に係る評価							:備の	修繕や内装を改修り	した。					
1日も早い商業施設の再開を望む声が多く寄せられていたが、2年以上に渡り1階のキーテナントが決定しなかったが、企業誘数によりイオン東北梯の出店が決定し、築20年以上経過し老朽化した合き1階商業施設を修繕した。その結果、中心市街地の賑わいの創出や、近隣住民の利便性の向上が図られた。 本朽化した設備や内装を修繕し、企業誘数をしたイオン東北横や以前から出店していたテナントの一部が商業施設に出店し営業を開始したことにより、中心市街地の賑わいの創出や、近隣住民の利便性の向上が図られた。 成果に係る評価														
1日も早い商業施設の再開を望む声が多く寄せられていたが、2年以上に渡り1階のキーテナントが決定しなかったが、企業誘数によりイオン東北梯の出店が決定し、築20年以上経過し老朽化した庁舎1階商業施設を修繕した。その結果、中心市街地の賑わいの創出や、近隣住民の利便性の向上が図られた。 本有化した設備や内装を修繕し、企業誘数をしたイオン東北梯や以前から出店していたテナントの一部が商業施設に出店し営業を開始したことにより、中心市街地の賑わいの創出や、近隣住民の利便性の向上が図られた。														
1日も早い商業施設の再開を望む声が多く寄せられていたが、2年以上に渡り1階のキーテナントが決定しなかったが、企業誘数によりイオン東北梯の出店が決定し、築20年以上経過し老朽化した庁舎1階商業施設を修繕した。その結果、中心市街地の賑わいの創出や、近隣住民の利便性の向上が図られた。 本有化した設備や内装を修繕し、企業誘数をしたイオン東北梯や以前から出店していたテナントの一部が商業施設に出店し営業を開始したことにより、中心市街地の賑わいの創出や、近隣住民の利便性の向上が図られた。														
定しなかったが、企業誘致によりイオン東北㈱の出店が決定し、築20年以上経過し老朽化した庁舎1階商業施設を修繕した。その結果、中心市街地の賑わいの創出や、近隣住民の利便性の向上が図られた。 老朽化した設備や内装を修繕し、企業誘致をしたイオン東北㈱や以前から出店していたテナントの一部が商業施設に出店し営業を開始したことにより、中心市街地の賑わいの創出や、近隣住民の利便性の向上が図られた。 成果に係る評価 ・	取	組	実 績											
定しなかったが、企業誘致によりイオン東北㈱の出店が決定し、築20年以上経過し老朽化した庁舎1階商業施設を修繕した。その結果、中心市街地の賑わいの創出や、近隣住民の利便性の向上が図られた。 老朽化した設備や内装を修繕し、企業誘致をしたイオン東北㈱や以前から出店していたテナントの一部が商業施設に出店し営業を開始したことにより、中心市街地の賑わいの創出や、近隣住民の利便性の向上が図られた。 成果に係る評価 ・														
定しなかったが、企業誘致によりイオン東北㈱の出店が決定し、築20年以上経過し老朽化した庁舎1階 商業施設を修繕した。その結果、中心市街地の賑わいの創出や、近隣住民の利便性の向上が図られた。 老朽化した設備や内装を修繕し、企業誘致をしたイオン東北㈱や以前から出店していたテナントの一 部が商業施設に出店し営業を開始したことにより、中心市街地の賑わいの創出や、近隣住民の利便性の 向上が図られた。 成果に係る評価 ・ 大算額 ・ 大算額 ・ 大算額の財源内訳 ・ 予算額 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・														
定しなかったが、企業誘致によりイオン東北㈱の出店が決定し、築20年以上経過し老朽化した庁舎1階 商業施設を修繕した。その結果、中心市街地の賑わいの創出や、近隣住民の利便性の向上が図られた。 老朽化した設備や内装を修繕し、企業誘致をしたイオン東北㈱や以前から出店していたテナントの一 部が商業施設に出店し営業を開始したことにより、中心市街地の賑わいの創出や、近隣住民の利便性の 向上が図られた。 成果に係る評価 ・ 大算額 ・ 大算額 ・ 大算額の財源内訳 ・ 予算額 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・														
成果に係る評価				1日も早い商業施設の	再開を	·望む	·声が	多く寄せられていた	たが、2	2年以.	上に渡	隻り1	階のキー	-テナントが決
老朽化した設備や内装を修繕し、企業誘致をしたイオン東北㈱や以前から出店していたテナントの一部が商業施設に出店し営業を開始したことにより、中心市街地の賑わいの創出や、近隣住民の利便性の向上が図られた。 成果に係る評価 (単位:円) 予算の執行状況 予算額 決算額 は関係の財源内訳 国(県)支出金 地方債 その他 一般財源				定しなかったが、企業 商業施設を修繕した。	誘致に。 その結	より′ 果、□	イオン 中心 i	v東北㈱の出店が決 ī街地の賑わいの創	æ定し、 l出や、	築20: 近隣(年以」 住民 <i>0</i>	: 経i) 利(過し老朽 更性の向	化した庁舎1階 上が図られた。
老朽化した設備や内装を修繕し、企業誘致をしたイオン東北㈱や以前から出店していたテナントの一部が商業施設に出店し営業を開始したことにより、中心市街地の賑わいの創出や、近隣住民の利便性の向上が図られた。 成果に係る評価 (単位:円) 予算の執行状況 予算額 決算額 は関係である。 は単位:円) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・														
老朽化した設備や内装を修繕し、企業誘致をしたイオン東北㈱や以前から出店していたテナントの一部が商業施設に出店し営業を開始したことにより、中心市街地の賑わいの創出や、近隣住民の利便性の向上が図られた。 成果に係る評価 (単位:円) 予算の執行状況 予算額 決算額 は関係である。 は単位:円) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・														
部が商業施設に出店し営業を開始したことにより、中心市街地の賑わいの創出や、近隣住民の利便性の向上が図られた。 (単位:円) 予算の執行状況 予算額 ・	成		果											
部が商業施設に出店し営業を開始したことにより、中心市街地の賑わいの創出や、近隣住民の利便性の向上が図られた。 (単位:円) 予算の執行状況 予算額 決算額 以算額の財源内訳 国(県)支出金 地方債 その他 一般財源														
部が商業施設に出店し営業を開始したことにより、中心市街地の賑わいの創出や、近隣住民の利便性の向上が図られた。 (単位:円) 予算の執行状況 予算額 決算額 以算額の財源内訳 国(県)支出金 地方債 その他 一般財源														
部が商業施設に出店し営業を開始したことにより、中心市街地の賑わいの創出や、近隣住民の利便性の向上が図られた。 (単位:円) 予算の執行状況 予算額 ・														
部が商業施設に出店し営業を開始したことにより、中心市街地の賑わいの創出や、近隣住民の利便性の向上が図られた。 (単位:円) 予算の執行状況 予算額 ・														
成果に係る評価														
予算の執行状況 「単位:円) 予算額 決算額 事業の執行状況 事業の執行状況 国(県)支出金 地方債 その他 一般財源														
予算の執行状況 予算額 決算額 国(県)支出金 地方債 その他 一般財源	成果	に係る	る評価											
予算の執行状況 予算額 決算額 国(県)支出金 地方債 その他 一般財源														
予算の執行状況 予算額 決算額 国(県)支出金 地方債 その他 一般財源														(単位:円)
予算の執行状況 国(県)支出金 地方債 その他 一般財源				マ 俊 奴		h der en				決算額	頁の財	源内	引訳	
145,000,000 142,560,000 142,560,000	予算	の執行	宁状況	了昇組 	7	大异名	R	国(県)支出金	地	方債		そ	の他	一般財源
				145, 000, 000		142,	560, (000						142, 560, 000

# 1 項 総務管理費	_			ı	1							
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	予 _	2	款	総務費		第 1 章				()		
下級計画	科	1	項	総務管理費	計	第 3 節			計	()		
接載ページ	Ħ	5	目	財産管理費	曲	(1)		ちづ	曲	()		
省エネへの取り組みの一環として、本庁舎の照明器具を通常の蛍光灯から、LED照明に改め。このことにより、国が推進するエネルギー・温暖化対策に寄与するとともに、庁舎の経常経動料)の大幅な削減が図られる。 市役所本庁舎内の照明器具をLED照明に改修した。 一般電灯 3,227灯 非常照明 259灯 誘導灯 714灯 前 4,200灯 計 4,200Մ 計 4,2				P16	中	事 業	庁舎管理費					
の。 このことにより、国が推進するエネルギー・温暖化対策に寄与するとともに、庁舎の経常経動料)の大幅な削減が図られる。 市役所本庁舎内の照明器具をLED照明に改修した。 一般電灯 3.227灯 非常照明 259灯 誘導灯 714灯 計 4,200灯 取 組 実 績 ・本事業の実施により、本庁舎の年間消費電力が大幅に削減された。 ・LED照明は寿命が長いため、器具の交換を頻繁に行わなくてもよいため、消耗品費の削られた。 ・LED照明は蛍光灯に比べ、二酸化炭素排出量が大幅に削減されるため、省エネ効果及び対策にも寄与することができた。 成 果 市役所本庁舎について経常経費(電気料・螢光管)の大幅な削減が図られている。今後は、イ(総合支所等)においても同様の改修が必要と思料される。	事業	€コート	*,									
- 般電灯 3,227灯 非常照明 259灯 誘導灯 714灯 計 4,200灯 取 組 実 績 ・ 本事業の実施により、本庁舎の年間消費電力が大幅に削減された。 ・ LED照明は寿命が長いため、器具の交換を頻繁に行わなくてもよいため、消耗品費の削られた。 ・ LED照明は蛍光灯に比べ、二酸化炭素排出量が大幅に削減されるため、省エネ効果及び対策にも寄与することができた。 成 果 市役所本庁舎について経常経費(電気料・蛍光管)の大幅な削減が図られている。今後は、f(総合支所等)においても同様の改修が必要と思料される。	目的及び	び事業	内容	の。 このことにより、国か	が推進す	するエネノ						
・LED照明は寿命が長いため、器具の交換を頻繁に行わなくてもよいため、消耗品費の削られた。 ・LED照明は蛍光灯に比べ、二酸化炭素排出量が大幅に削減されるため、省エネ効果及び対策にも寄与することができた。 成果 市役所本庁舎について経常経費(電気料・蛍光管)の大幅な削減が図られている。今後は、低(総合支所等)においても同様の改修が必要と思料される。	取組	18 実	績	一般電灯 3. 非常照明 誘導灯 計 4.	227灯 259灯 714灯 200灯							
(総合支所等)においても同様の改修が必要と思料される。 成果に係る評価	成		果	・LED照明は寿命られた。 ・LED照明は蛍光対策にも寄与する	が長い灯に比が	ため、器 べ、二酸 できた。	具の交換を頻繁に4 化炭素排出量が大	行わな 幅に削	くても。	るため、	省工ネ効	果及び温暖化
(年	成果に	二係る言	平価						川減が図	られて	いる。今行	後は、他の施設 (単位:円)
決算額の財源内訳									決算額	の財源	———— 为訳	(年世:门)
予算の執行状況 予算額 決算額 国(県)支出金 地方債 その他 一般	予算の)執行物	犬況	予算額	ä	中算額	国(県)支出金	地	方债		その他	一般財源
146, 836, 100 146, 835, 700 139, 400, 000 7,				146, 836, 100		146, 835,	700	139	, 400, 00	00		7, 435, 700

予	2	款	総務費	総	第	章			復	()		
算 科	1	項	総務管理費	合計	第	節			興計	()		
目	6	目	企画費	画	()			画	()		
	尾施計画 載ペー:			中	事	業	がんばる石巻応援	寄附関	係費			
事	業コー	ド		事	業	名	がんばる石巻応援	寄附関	係事業	**		
目的及	ひ事業	内容	独自財源を確保する。 してくださる全国の方。 寄附をいただいた方 に、地域経済の活性化。	々から、 こ対し [*]	、寄l ては.	附金 <i>0</i> 、返ネ)受入れを行ってい L品として石巻市の	る。				
取	組実	績	(2) 場 所: 神奈川 (3) 来場 枚数: 11,608 (4) 配計 食数: 1申 ママト (5) 計 産品 評価令名 (1) 日 令 大田 一元 中の (2) 令 の 本語 で (1) 日 令 不可 に (3) 石 本語 で (1) 掲載 媒体 (1) 掲載 媒体 (2) 名 で (1) 掲載 媒体 (2) 名 で (3) る 育 に (3) る 育 に (4) 特 徴: ポータ	込 % ン年県人約・ 会元て頂幸 伴年と寄ル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3.7% 振 参日 : 葉 81にた横 災日ス額で	6、 込 別(パ カキ 日口の浜 きつ、:『専紙 : 土シ g米 『品、市 支令楽7.用	面での申込:1.3% 5.6%、銀行振込: (第5回ふるさとチ)フィコ横浜 コグ約200部、チラ: ・たらこ・仙台牛 ②令和2年2月7日 目選定委則県安城市、大 提和2年3月31日 天、ANA	0.8% 0.8% コイス シ約700 ち 阪府 プ	、 ス 大 の 部 ぼ な で 後 下 下 市)	: 0. 1% 射祭) 遣職員44		
成		果	令和元年度において	ま平成2 H27 25,075 750,385	27年) 8件 2円 年度(度に2	H28 H2 11,830件 17, 52,202円 241,483,	った。 9 731件 225円	253, 9	H30 15,589件 31,245円 のほか、i	R7 25, 354, 718,	 932件 283円 開催されたイベ
成果	に係る	評価	ントへの参加、特産品、 た結果、前年度に比べ、 総務省の指定制度が とが減った影響もあり、 を用意するなど、更な	件数 令和元 全国的	で10, 年6月 的に、	,343∤]から ふるさ	⊧、金額で100,787, 開始され、豪華返₹ ⊱と納税の寄附が増	038円 礼品を 加傾向	の増加 用意し 引にあ	となった た一部の ることか	:。 自治体に	寄附が偏るこ 魅力的な返礼品
									计体型	の出海コ	- - -0	(単位:円)
予質	の執行物	犬 湿	予算額	ä	中算	頂				の財源内		
了升	~/ + /61 J 1	ハル					国(県)支出金	地	方债	- 7	の他	一般財源
			195, 330, 000		185,	942, (630					185, 942, 630

予	2 着	款	総務費	総	第1章	ともに創る協働の	まち 復		()	
算科	1 1	頁	総務管理費	合計	第 2 節	市民のまちづくり する関心を高める			()	
目	6	∄	企画費	画	(2)	市民参加を促進す	あ 画		()	
	€施計画 載ページ		P14	中	事 業	総合戦略推進関係	費			
事	業コード		001-002-002-01321	事	業名	政策コンテスト開	催事業			
目的為	及び事業内	P容	若者の郷土愛を育み、 者意識を持ってもらうる 地域に暮らず若者がSと にアプローチする。現実 らしい斬新を検討する。 させることを検討する。	ことを s (持 で、200 生を備	目的として 続可能な閉 30年も住み	いる。「2030の石]発目標)を通して たい石巻を実現す	「巻!〜SDG 「、石巻市か 「るための政	sが未 が直面 女策を	∈来を変える〜」 īしている様々な ∈考え、コンテス	をテーマに、 は課題に効果的 スト形式で若者
取	組実	績	一昨年度まで業務委請 巻市と一般社団法人石利 7月28日から10月20日 催事(6回)及び毎週の 7月28日 キックオコ 8月5日 SDGs研修1 8月5日 中間がチェッ 9月1日 直明チェッ 10月6日 決勝大会	ます ま進 フィックク	会議 が記 が記 が行 要つ認認認 がのGSが確確確一 のBDG渉を推進 が表 のBDG渉を推進 がある。 のBDG渉を のBDG渉を のBDG渉を のBDG渉を のBDG渉を のBDG渉を のBDG渉を のBDG・	₹行委員会を組織し ∷わたり、いしのま	、、 き	まっぱいをできる テーク 施、実実実政 スロー 理旅旅旅	女策コンテスト を またを実施し、 其 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	を運営、実施し明間中に、全体
成	Я	ŒV.	(2) 意見・感想 ・ 石巻について知・ ・ 石巻について詳・ ・ 自分たちの性かって考えることで愛え4 提案された各政策の提案された各政策「検討の結果、アブリにおける地域関 ・ フブリにおける地域関	(トす) るしでき 施にリ辰 平 結るく と知たり ない活い	は30年度 機識 でれ石い のて用削 でれ石い のて用削 のていまをき 映関政業 (特別)	250名) だちらかといえば関いたた。 と 石巻に さもったまうに活性性を もっと 石巻 課へにつく 和2年度として 令和2年度	引わりたくな さるのか、行 さるのか、行 にした に に に に に に に に に に に に に	こいと Eせい 反計こ	: 思うきっかけ! のではなく自分 : 思うようになった。 やについて検討? 可へ掲載し、「± ととなった。	こなった。 分たちが参加し った。 を行った。 也方創生RPG
成果	に係る評	価	参加者である若者の意識を持ってまるもらうままた、長々をいたはい。今後の元への時により、受や地元への時所、石巻専修大学や地方。	oかけ(をが採) ノテス リを持	の醸成が図 用され、写 トがさらに ち、産業を	られた。 現に向けて取り縦 発展する一助にな 担う人材を育成し	state ととな るものと表 て、若者の	ょる た きえら) 定着	など、具体的な原 っれる。 音を目指すため、	成果が出たこと 石巻青年会議 させていきた
								.b.T -	D175-1-50	(単位:円)
- ^-	o +4 /= .15		予算額	ž	央算額		決算 T	額の	財源内訳	
予算	の執行状	况				国(県)支出金	地方債	t	その他	一般財源
			700, 000		700, 0	00				700, 000

予	2	蒙	7	総務費	総	第 3 章		域資源を活かし 産業を創造する		復	()					
算 科	1	IJ	į	総務管理費	合計	第 7 1		を通して観光客が訪れる にぎわいを創出する	ることに	興計	()					
目	6	j E		企画費	画	(1)]ある観光地づくりと効♪ 対推進を図る	率的なP	画	()					
	€施計 載ペ-			P56	中	事 業	I	CT関連事業推	進費							
事	業コ-	-ド		003-007-001-01245	事	業 名	i 1	ンバウンド向け	無料無	線通信	環境整	備事業				
目的及	及び事	業内		本市を訪れる外国人 環境を提供し、市内を原 信、誘導するだけでなら 外に発信してもらうこと	間遊する (、利用	る上で手 用者自ら	F助け SのS	となるWebア NSによる発信	プリク を促し	ーション、観力	ョンを通	じて、本市	5の魅力を発			
取:	組写	The A		 無料SIMカードの(1) 訪日外国人へのア 常設配布場所・ イ 外国客船入港・ウ 出港地でスター・市庁舎、JR石・バートトラー・ホテルルルートもで、 (3) 観光協会で(4) 石巻観光協会で 	利◆ 持護の参ノ立サ用石カホ配浜掲駅(ちイ使巻)がお手示(お上ト	進規ェル場こ、問巻げをを光「ル所おチ辺河た開図会「トニスラ韓」「決議を開発を開発した。	徐R~→こシ害□街し物のイー、の駅Cな、産民ン石出配含店が『	販売所、復興ま I (名地の では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ち、店いR ン 進信 イン・	TEI で で で で で で で ア ア トワ	L KI 店) わまち交 施(H3) 石巻サ	KO(ゲク :流センター : 4) ·ンプラザが 営会議」へ	、トハウス)、 - マテル、 の参加			
成		果		今後、本市とはいるが の整備は十分とはいるが 対し本市の魅力を発信。 令和元年度配布状況 年間配布数 301枚 〇 ダイヤモンド・フ 配布期日 H31.4入港時 R1.7入港時 計 ※ 9月の入港は 〇 客船入港時会物産	はい状況 (H30 (H30 (リンセ 配布	兄にができる。 シェス枚 シェス枚 57枚 23枚 112枚 55枚 247枚 影響による。	る中できた。 103枚 .港時	、良好なインタごのでは、ごのでは、ごのでは、ごのでは、できます。できます。できます。できます。かわまち交では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、<l< td=""><td>ーネッ 場所 中央埠頭 中央埠頭</td><td>ット接 頭 ちぱ 頭</td><td></td><td></td><td></td></l<>	ーネッ 場所 中央埠頭 中央埠頭	ット接 頭 ちぱ 頭						
成果	に係る	5評(T	ーF:環境整備に変わる また、配布実績に関し 配布実績となり、徐々し ニーズ調査の結果やわ の配布が大部分を占める 営会議での観光関係者と	おおけれたない。新ない記用はいます。	なサービ 大型客 ま 大型高 ま 大 大 大 大 大 大 大 く 大 大 く た た 大 り た り た り た り た り た り た り た り た り	ごひまらそこれでつも信よののて有、り	無料で利用できるインターネット接続環境は魅力的であり、Wi Rの提供が図られた。 での配布が2度できたこともあり、平成30年度と比較して約3倍の ってきていると思われる。 も有益なサービスであることが分かってきているが、客船入港時 言、配布方法の検討や、街なかインバウンド推進ネットワーク運 より利用者の拡大、サービスの向上につなげていく必要がある。 D上、民間移譲の可能性について検討することとし、本事業は令								
			1	ı									(単位:円)			
	 .	115 -		予算額	浔	中類		,		決算額	側の財源	内訳				
予算	の執行	丁状》	ቪ					国(県)支出金	地	方債		その他	一般財源			
				2, 510, 593		1, 825	5, 290					1, 825, 290				

		+/	40.76 ±	th	域の個性が輝き	融和	, , I	
予	2	款	総務費	総 第 0 早 す	るまち	復	()	
算 科 目	1	項	総務管理費		域の風土に根ざし や資源を守り育て		()	
			地域振興費		性ある地域をつ		()	
	€施計画 載ペー:		P 129	中事業市	民協働推進費			
事	業コー	ド	006-001-001-00023		域づくり基金助		5 + + - × / 11 - 1 - 1	
目的及	及び事業	内容	市民の連携強化及びだめ市全域のまちづくりにるもの。					
取	組実	績		:交付した。 3団体 (本庁3件 9団体 (本庁6件 12団体 (本庁9件	。) · 、河南1件、桃≤ · 、河南1件、桃≤	Ė2件) Ė2件)		
成		果	1 水と緑の環境: 2 河南鹿嶋ばやし 3 まちの寄り合し 4 河南桃生商工会 5 マンマの会パー 6 石恋まつり実 7 大人のためのう 8 エイサー石巻 9 境を守る協議会 10 いしのまき演演 11 がんばろう! 石	体の名称 フォーラム・ものう フォーラム・ものう フィーラム・ものう フィーテ フィーテ は青年部 フリーテ で で で で で で で で で で で が に に で で で で で で	により、市民の 北上川親嶋け 河南が仕録のでは、 郷土話石音で、文 「福ま、異業 ず 第4回にのの 神ののでは、 東東 が 10にのの 神ののでは、 では、 では、 では、 ののでは、	連携の強化を事業の強化を基準をしている。 事業業事とのでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	要び均衡ある地域扱業の名称 意とでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	議演会 イ形成事業 本のできる 域活性化事 活動 い策定事業
成果	に係る	評価	とにより、名	ティの活性化や地域 各団体の活動が市見 しやすいような制度	長に広く周知さ €の見直しや広			
								(単位:円)
	果に係る評価		予算額	決算額		決算額	類の財源内訳 	
予算	の執行	状況	. 9T ER	WAT DR	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
			3, 070, 000	2, 751, 000			2, 751, 000	

予	2	款	総務費	総	第 1 章	ともに創	る協働の	まち	復	()		
算科	1	項	総務管理費	合計	第 1 節	住民の自 る	治力を強	化す	興計	()		
目	7	目	地域振興費	画	(2)	 公益的な 援する	市民活動	を支	画	()		
	L E施計區 載ペー		P13	中	事 業		推進費、	市民協	働推進	進費(台風関係タ)	
	業コー		001-001-002-00675	事	業名	集会所建	設費補助	事業					
目的及	ひ事事	業内容	【目的】 住民の連帯意識の醸 【内容】 集会所の新築事業、 事業、集会所建設用	集会所の	の改築、増	築及び改	修事業、	既存建	建物を集	集会所	として利用	用するため	
取:	組実	: 積	集会所の新築及び改 1 新築2件 (1)垂水町集会所 (2)小竹浜集会所(R 2 改修3件 (1)開北会館(屋根、(2)大須生活改善セン (3)福地林業者生活改	2へ繰越 雨樋修 <i>i</i> ター(3	²) 繕) 女子トイレ	/修繕)							
成		果	地域の交流拠点とな コミュニティ活動の促 石巻市集会所建設費 集会所: 垂水町集会所 別北会館 大須生活改善センタ 福地林業者生活改善	進と地域 等補助 名	金		対象 対象 16,2 20,5 2,3 1,4 3,5		四られが四られが四方の円の円の円の円の円の円の円の円の円の円の円の円の円の円の円の円の円の円の円	た。 補助 8,1 8,2 1,5 9	支援する 15,000円 32,000円 20,000円 93,000円 20,000円 80,000円	Nation	、地域
成果	に係る	地域コミュニティの拠点となる地域集会所は、市民と協働のまちづくりを推進する上で重要な施設であり、集会施設のない自治会による新築や、老朽化等による建て替え、修繕に対して今後も継続が必要とされる。											が必要
												(単作	立:円)
l			予算額	H	 上算額				決算額	側の財	源内訳		
予算	の執行	状況	7 77 43		->rux	国(県)支出金	地	方債		その他	一般	財源
			20, 380, 000		20, 380, 0	00						20, 3	80, 000

予		2	款	総務費	総	第	章			復	())	
算科		1	項	総務管理費	合計	第	節			興計	())	
目		7	目	地域振興費	曲	()			画	())	
	実施計 載ペ-		;		中	事	業	市民協働推進	費				
事	業コ	- F	:			業		NPO支援推					
目的》	及び事	業	内容	市民公益活動団体の所体、市民、企業及び市の 1 NPO支援オフィス 2 情報収集提供事業 3 研修・カウンセリン	の連携 の施設	・交流	流の均	易所を提供する		り、N 体実態	POの 調査事	育成·支援? 業	
取	組 ::	実	績	NPO支援を目的指 の支援オの指 1 施設設 業・ロース 2 情報市民報紙の力のでは、 (1) 会議器収集公掲紙の力のでは、 (2) 情報市民報紙の力のでは、 (3) 機関・ルー、セール会では、 (4) 石を・報録は、ほうとでは、 (4) 石を・報録は、は、は、 (4) 石を・報録は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	き ・(の情ガログた相業及一議づの マースコー収報ジ 日事め談 びしのく開者 一ビ 集棚ジ 日事ま会 ヒョ事り作	と ルー・・及聞 つ等 ア業務懇し、 ポ機 提才び、 ぶ相 リー局談	、 、き 供フメラ 講談 ン 業会利 ク簡 及ィージ 座対 グ 務」	用者の様々なニスの貸し世・イスの買し世・イスの同様をし出い、 は 資本 スリカー スリカー 大田	ーズに対 ノコン等の が きょうでの情報を でいしのます	応 貸し出 信信の作	が最後に		·····································
成		į	果	 NPO支援オフィス系区分 来館者 H30実績 2,85 R1実績 2,46 石巻市市民公益活動匠・研修業務・・・・・情報発信 	数 7人 8人 団体····	会議 利用 1 2 ···登	数 190件 202件 録数	607件 173団体(前年	図 書 閲覧者数 2人 1人 手比3団体	利用 、	/コン 引者数 4人 8人	機 器 利用者数 418件 322件	広報等 依頼数 54件 188件
成果	に係	る評	価	N P O 支援オフィスネ ことに加え、S N S やf 極的に情報発信を行った もた、10月には石巻す した。新たに立ち上が いう点で、これまでN F	青報発 こ。 5 N P (った「(信ツ- O連編 いし(ールの 格会調 のま a	D試験導入に取 の発展的解消 き市民公益活動	り組むな を実行し 連絡会議	ど、団 、これ 」は、	体及び まで担 ガバナ	イベント情報 ってきた事系 ンスを有した	服等について積 8局機能を停止 と会議体運営と る。
				Τ						決質を	頭の財活	源内訳	(単位:円)
予算	の執	行状	況	予算額	ä	央算客	Ą	国(県)支出	H金 H	也方債	Sec. MI		一般財源
				10, 460, 000		10,	460, (J. J. J. J.		C 15	10, 460, 000

### 2																
科		2	款	総	務費		第	1 3	章 とも	に創る協働の	まち		()			
7 目 地域振興費	科	1	項	総	務管理費	計	第	2 1				計	()			
事業コード 001-002-002-00016 事 業 名 地域まちづくり委員会事業 地域まちづくり委員会は、合併前の旧町地域の行政サービスの低下などの不安を解消し、均衡 展及び活性化を図るため設置したものである。総合支政と連携し、市民と行政が一体となり、各 まちづくり添菓や活性化に向けた取組を行っている。 取組内容 令和元年9月から第8期目となったため、各地域まちづくり委員会において、役員の改選を行い、	Ħ	7	目	地	域振興費	曲	(2)	市民	参加を促進す	る	曲	()			
地域まちづくり委員会は、合併前の旧町地域の行政サービスの低下などの不安を解消し、均衡 展及び活性化を図るため設置したものである。総合支所と連携し、市民と行政が一体となり、各まちづくり態策や活性化に向けた取組を行っている。 1 取組内容 令和元年9月から第8期目となったため、各地域まちづくり委員会において、役員の改選を行い、 返置体制のもと、各地域の実情に即した事業に関する説明及び協議を実施した。 具体的には、施設の利活用や地域課題など、地域の活性化に結びつく事業内容を議題とした。 2 開催実績					P15	中	事	業	地域	振興関係費						
展及び活性化を図るため設置したものである。総合支所と連携し、市民と行政が一体となり、各まちづくり施策や活性化に向けた取組を行っている。	事業	業コー	ド									-				
取 組 実 積	目的及	なび事業	美内容	展ま 1 な	及び活性化を図るため ちづくり施策や活性 取組内容 令和元年9月から第81 運営体制のもと、各1	めに 朝域	しけな実情	もの 取組 たに則	である。	o。総合支所と oている。 r地域まちづく i業に関する語	・連携し りゅうしゅう りゅうしゅう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこ	こ、市民会議を表しています。	・ と行政 ・ ・ に 実施し	zが一体と; 役員の改込 た。	なり、名 <u></u> 選を行い	各地域(ハ、新
取 組 実 積						1374713	. ~	-24 117	NG-6-C				<i>+ x</i> r .		L 0728	
取 組 実 額					用惟夫棋			T		第	1回			第2回		
雄勝地域まちづくり委員会 15人 10/21 12名 2/6 12名 河南地域まちづくり委員会 18人 10/28 17名	取	組実	績							開催日	参加		開催	日 参加]人数	
河南地域まちづくり委員会 18人 10/28 17名								-					2/6		- 19タ	
株生地域まちづくり委員会 10人 10/28 6名								+						_		
社庭地域まちづくり委員会 11人 11/20 9名 1 河北地域 河北地域の課題と地域活性化のための施策提案等を取りまとめた「まちづくりに関する提案書出により、河北地域の魅力や地域の活性化に資するために必要な施策等を再確認できた。 2 雄勝地域 雄勝中心部拠点エリア整備事業をはじめとした、住みよい地域づくりに向けての協議を行った。の洗い出しと今後の対応の検討を通して、住民が主体となり地域を活性化するという意識を共有とができた。 3 河南地域 委員会のあり方についてあらためて協議を行い、役割と必要性について再認た。 4 桃生地域 今後行っていくべき地域課題の解決や地域活性化に関する施策の方向性と必要性について、各話いて意思統一を図った。 5 北上地域 地域自治システムや生活支援体制整備事業など、北上地域の発展に係る事項について情報共有とともに、新体制運じあたって、委員会の役割等を再確認した。 6 社庭地域 今後、委員会で協議すべき課題等の再確認のため、新しい委員の方々にアンケート調査を実施と、より住民の目線に合わせた協議となるよう課題を明確化することができた。 未完して書きた。 表示年度は、自然災害等の影響により、例年に比べ関催回数が少ない状況となったが、各地に向けた協議を実施した。 また、石巻市男女共同参画基本計画 (第3次) に掲げる女性委員の各用率目標は40%であったこ対し、第6期まちづくり委員会委員における女性登用率は30分に留まった。今後は、男女共同参画点に立ち、女性委員のより特定的な多用に向けた運体制づくりを行っていく。 平成17年に市町村合併が行われてから、社会情勢等が大きく変化してきており、地域自治のあついても変化してきている。各地域の実情に合わせたまちづくりを推進していくため、地域まち、委員会を維持するだけでなく、今後は社会情勢の変化や震災後のニーズ変化等に対応するため、第0あり方について検討していく必要がある。 単位決算数に対しては、2000年に対していて必要がある。 第4章の対象に対していて検討していく必要がある。 第4章の対象に対しては、2000年に対していくの表に対していての表に対していての表に対していての表に対していての表に対していての表に対していての表に対していての表に対していての表に対していての表に対していての表に対していての表に対していての表に対していての表に対していての表に対していての表に対していての表に対していての表に対していての表に対しないであれば、2000年に対していての表に対し、2000年に対していての表に対していていていていていていていていていていていていていていていていていていてい								_					-		-	
河北地域 河北地域の課題と地域活性化のための施策提案等を取りまとめた「まちづくりに関する提案書出により、河北地域の魅力や地域の活性化に資するために必要な施策等を再確認できた。 2 雄勝地域 推勝中心部拠点エリア整備事業をはじめとした、住みよい地域づくりに向けての協議を行った。 2 河南地域 委員会の対応の検討を通して、住民が主体となり地域を活性化するという意識を共有とができた。 3 河南地域 委員会のあり方についてあらためて協議を行い、役割と必要性について再認した。 4 桃生地域 今後行っていくべき地域課題の解決や地域活性化に関する施策の方向性と必要性について、各計いて意思統一を図った。 5 北上地域 地域自治システムや生活支援体制整備事業など、北上地域の発展に係る事項について情報共有とともに、新体制運営にあたって、委員会の役割等を再確認した。 6 牡鹿地域 今後、委員会で協議となるよう課題を明確化することができた。 4 申しけた協議を実施した。 5 北上地域 5 年					北上地域まちづく	り委	員会		20)	7/25		10名	10/2	11	12名	
河北地域の課題と地域活性化のための施策提案等を取りまとめた「まちづくりに関する提案書出により、河北地域の魅力や地域の活性化に資するために必要な施策等を再確認できた。 2 雄勝地域 雄勝中心部拠点エリア整備事業をはじめとした、住みよい地域づくりに向けての協議を行った。の洗い出しと今後の対応の検討を通して、住民が主体となり地域を活性化するという意識を共有とができた。 3 河南地域 委員改選に伴い、委員会のあり方についてあらためて協議を行い、役割と必要性について再認だた。 4 桃生地域 今後行っていくべき地域課題の解決や地域活性化に関する施策の方向性と必要性について、各部ので意思統一を図った。 5 北上地域 地域自治システムや生活支援体制整備事業など、北上地域の発展に係る事項について情報共有とともに、新体制運営にあたって、委員会の役割等を再確認した。 6 牡鹿地域 今後、委員会で協議すべき課題等の再確認のため、新しい委員の方々にアンケート調査を実施より住民の目線に合わせた協議となるよう課題を明確化することができた。 令和元年度は、自然災害等の影響により、例年に比べ開催回数が少ない状況となったが、各地、展に向けた協議を実施した。また、石巻市男女共同参画基本計画(第3次)に掲げる女性委員の登用率目標は40%であったこ対し、第5期まちづくり委員会委員における女性登用率は30%に留まった。今後は、男女共同参画点に立ち、女性委員のより積極的な登用に向けた運営体制づくりを行っていく。平成17年に市町村合併が行われてから、社会情勢等が大きく変化してきており、地域自治のあついても変化してきている。各地域の実情に合わせたまちづくりを推進していくとめ、地域まち委員会を維持するだけでなく、今後は社会情勢の変化や震災後のニーズ変化等に対応するため、のあり方について検討していく必要がある。					牡鹿地域まちづく	(り委	員会		117	11/20		9名	-		-	
展に向けた協議を実施した。また、石巻市男女共同参画基本計画(第3次)に掲げる女性委員の登用率目標は40%であったこ対し、第8期まちづくり委員会委員における女性登用率は30%に留まった。今後は、男女共同参画成に立ち、女性委員のより積極的な登用に向けた運営体制づくりを行っていく。平成17年に市町村合併が行われてから、社会情勢等が大きく変化してきており、地域自治のあついても変化してきている。各地域の実情に合わせたまちづくりを推進していくため、地域まち委員会を維持するだけでなく、今後は社会情勢の変化や震災後のニーズ変化等に対応するため、第0あり方について検討していく必要がある。	成		果	出2 のと3 た4 お5 と6 よ	によ勝地の場合を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	魅 ア応 員 地た 生こ すせカ 整の 会 域。 活あ べたや 備検 の 課 支た き協	地 事討 あ 題 援っ 課議域 業を り の 体で 題と	の を通 方 解 制、等な はし に 決 整委 のる	活性にして や 備員 再よい と住 て 均 業の 認課	資するためによる に民が主めては あらたにに関す な活性化、北を なるとりでは なるというでは なるといっな なるというでは なるといっな なる なるといっな なるといっな なるといっな なるといっな なるといっな なるといっな なるといっな なるといっな なるといっな なるといっな なるといっな なる なるといっな なるといっな なるといっな なる なる なる なる なる なる なる なる なる な	こい いり 議 る 域認 いる 要 地地 を 施 のし 委る できまる かままる かいきょう	は 或或 ・ 丁 ・	手を再確ける に化割とと事にた。 にた。	認できた。 ての協議 要性につい 要性について について ・ケート調	。 を行った で 本 で 再 に て て 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	た有 図 各 有 施課る し 員 図 た
決算額の財源内訳 予算額 決算額	成果(に係る	評価	展 対点 つ委	に向けた協議を実施 また、石巻市男女とし、石巻市男づくり に立ち、女性秀明まで委員の に立ちでは市町村舎で いても変わけるだけ は、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	し司委よ并いで を負債行。く	基本が極わ各、	計員ない域後	i (第3) おける 新用に向いる いら、 対実情に は社会情	次)に掲げる。 女性登用率は 1けた運営体制 は会情勢等が大 こ合わせたまち	女性委30%に 引づく! こきく!	員の登 留まっ りを行っ を化して りを推進	用率目れた。今行 た。今行 さていく きてお	標は40%で 後は、男女 らり、地域に いくため、	あった 共同参 自治のな 地域まり るため、	ことに 画の初 あり方 る 委員
予算額 決算額				Г	<u> </u>							計算を	o H:⊭	rh =0	(単	4位:
	予算(の執行	状況		予算額	į	決算	額		国(県) 支出金	14				_á	世界源
1, 810, 000 952, 521 9				H	1, 810, 000			952		_ \\\\ \\\ \\			-		-	952, 5

予	2	款	総務費	総	第 2 章	個性と創造性豊かな の担い手をはぐくむ		()				
算科	1	項	総務管理費	合計	第 3 節	新たな時代を創造 人材を育成する	計	()				
目	7	目	地域振興費	画	(1)	広い視野を持つ人 はぐくむ	材を画	()				
	₹施計ī 載ペー		P33、P34	中	事 業	国内姉妹都市・友	好都市交流打	推進費				
事	業コー	٠Ķ	002-003-001-00019、 00020、01194	事	業名	国内姉妹都市・友	好都市交流	事業				
目的及	なび事:	業内容	国内の姉妹都市・友 を促進し、各市町との 事業内容としては、	連携を決	深めるとキ	に、地域の活性化	き図る。					
取	組 実	. 積	【山石)(2) (3) 本日場内 写真産 ンの 会に元県市ら た 一	の年为、祭、風年スの。 w裏裏王写 流い年可民ん り年为の年为、祭典 国年スの。 w裏裏王写 流い年出おぼ り1号の受月 合等 9月(産 令令ル展 業済22町名狩 ア月17年) 第一次	D日 放へ 接 12 英品 和和石木、 り12 内、り 、 13 日 長加 か シ売 月月 長加 か シ売 月月 月 東加 か シ売 月月 市 の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	市内視察(魚市場の) か中止 ッピングパーク) 予定していたが、日~19日日~19日 特産品の販売(販付) 下文解して、	台風19号接 売数量:37,	近のため中止 品目543個)				
成		果	【茨城県ひたちなか市 【山口県萩市】 より、本市の人々や文 及び物産展を本市にて 【山形県河北町】 さくらんぼ狩りツア ともに、山形県河北町	両市を 記した 開催した	繋いだ川村 史等への理 たことによ 、石巻市月	孫兵衛の偉業を称 解を深められ、今 り、石巻市民の萩 が実際に山形県河	える石巻川 後に繋がる 市への理解 「北町へ足を	交流となった。ま 促進が図られた。 運び、友好都市の「	ただいたことに た、萩市写真展 味覚を味わうと			
成果	【山口県萩市】 台風19号接近により、萩市にて開始予定であった本市の物産展を中止としたが、萩市長来石及び萩市 写真康・物産展の実施により、相互理解が促進された。今後さらに相互理解を促し、友好関係を深める ため、事業の継続が必要である。 【山形県河北町】 台風19号接近により、いしのまき大漁まつりツアーを中止としたが、さくらんぼ狩りツアーの実施に より、友好都市への認識を深め、山形県河北町の産業活性が図られた。今後も引き続き両市の地域活性 を図り、連携を深めるため、様々な分野での交流事業を継続する必要がある。											
							** ## **	50H流力=0	(単位:円)			
予質	の執行	状況	予算額	Ħ	快算額			質の財源内訳 				
, 24	1976 []	<i>9</i> < 170				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源			
			1, 632, 000		1, 265, 7	10		258, 000	1, 007, 710			

予	2	款	総務費	総	第 6		域の個性が輝き るまち	融和	復	()		
算科	1	項	総務管理費	合計	第 1 :		域の風土に根ざし や資源を守り育て		興計	()		
目	7	目	地域振興費	画	(1)	個	性ある地域をつ	くる	画	()		
	፪施計眞 載ペー		P129	中	事 業	地	域交流・定着支	援等事	業費			
事	業コー	ド	006-001-001-01090	事	業名	移	住対策事業〔地	方創生)			
目的及	なび事業	業内容	移住希望者への情報 業者を通して人材育成 また、全国10の自治(協議会の事務局である) たな事業の担い手の定何	舌動を 本で構 IP0法人	行い、こ 成される 、ETIC.と	これら 5ロー :連携	の事業を都市部 カルベンチャー し、首都圏の起	『に発信 ·協議会	するこ の参加	ことで 同自治(移住の促進を 体として、名	E図る。 A参加自治体や
取	組 実	! 積	ス(1) アンディングラン (1) アンディングラン (1) アンディングラン (2) アンディング (3) アンディング (4) アンディング アンディング アンディング アンディング アンディング アンディング アンディング アンディング アンディング (4) アンディング アンディング (5) アンディング (5) アンディング (7) アング (7) アンディング (7) アン	ジカワミ付 講授さ 生一去プよ業情ナ務協ル自マトチ成チ 菖講記世・表と 座事、 作(ビーの期発)に義べ治ツ・マー 協演工置十表と 座事、 作(ビーの期発)に会とはチーー 協会	では、「では、「では、「では、」では、「では、「では、」では、「では、「では、」では、「では、「では、」では、「では、」では、「では、「では、」では、「では、「では、」では、「では、「では、」では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、」では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、」では、「では、「では、「では、「では、」では、「では、「では、「では、」では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、」では、「では、「では、「では、「では、」では、「では、「では、「では、」では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、」では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、」では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、」では、「では、「では、」では、「では、「では、「では、「では、「では、」では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、」では、「では、「では、」では、「では、「では、」では、「では、「では、」では、「では、「では、」では、「では、「では、」では、「では、「では、」では、「では、「では、」では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、」では、「では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、」では、」では、」では、「では、」では、」では、」では、」では、」では、」では、」では、」では、」では、」	ンけ で	エルジュ2 A を	入活: ((相 回回 回 回 事催た催 イの1 :場 回 開談 数数 数 業回い回 べごり : 所 数 催をする (1) (2) (3) (4) (5) (5) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	#数211 1	件、 参参 参 参 か な か な な な な な な な な な な な な な	0名) 65名) 66名) 19名) 155名) 講師による : 78名) : 78名) : 13名)
成		果	移住コンシェルジュー そのうち10名が本市へれて招き、起業する人材の輩に し、起業する人材の輩に さらに、ラーカルバリのや起業支援のノウバリ	多住し 知識の 出を図 ンチャ	た。ま <i>t</i> 提供や った。 一協議会	こ、起 己業家 会に引	業志望者を対象 の仕事場見学等 き続き参画した	とした の体験	人材育 过事第	育成事業 美を実力	業では、起業 施することで	能家を講師とし ②、本市に移住
成果	に係る	評価	移住相談件数に対し、 の検討を重ねるととも「 ていく必要がある。 また、起業を向けの、 んでいくとともに、その 関心を触発し、本市への	約半 こ、本 し材育 の取組	数の方だ 市へ移信 成事業や 内容及び	が本市 主して 空成果	に移住している いただけるよう 家の活用事業、 を効果的な方法	、引き ローカ	·続きT ルベン	Γ寧なぇ ノチャ・	対応と本市の 一事業等に引	○魅力を発信し き続き取り組 =対する興味・
							1					(単位:円)
			予算額	ŧ	央算額				決算額	の財源	原内訳	
予算	の執行	状況	广开版		八开切		国(県)支出金	地	方債		その他	一般財源
			59, 360, 000		53, 673	3, 790	26, 731, 140				26, 731, 140	211, 510

予		2 款	て 総	務費		総	第 6 章	するまち		復	()	
算科		1 項	総	務管理費		合計	第 1 節	地域の風土に根で 力や資源を守り	ぎした魅 育てる	興計	()	
目		7 ⊨	地	!域振興費		画	(1)	個性ある地域を	つくる	画	()	
	実施計 載 ペ・			P 130		中	事 業	地域振興関係費	t			
事	業コ	ード		006-001-001-	01241	事	業 名	地域おこし協力	」隊設置事	業		
目的及	及び事	事業内	人 容興	、材を募集し、 地域おこし協	隊員の受 力隊の事	入れる 業内を	を希望す 容は、被	る市内の事業者 災沿岸地域 (雄服	での就労を 券・北上・	E通して 牡鹿)	《あり本市に定住 で定住・定着を図 の活性化事業の る事業等の分野	ほか、観光振
取	組 :	実	2 隊	(1) 20代明 (2) 40代動列 女内男内 (3) 10代動列男内男性 (4) 30代動列男内男性 (5) 40代動 の (6) (5) 40代動 の (6) 定順対動 の (6) で順対動 でいる。	(・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	「サントリート」 (1) 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1	千カ 熊イ東発宮米宮か 団集 エー 本一京信以等城ら 体中東県 県ナ郡と県の県加 間及業 熊一調震仙ブ仙工 の	本市、H30.8.20 スとして地域に 布市、H31.4.17 災伝市派活動を通 台市、R1.9.2委 ランド化や ランド化や 販売までを通し、 調整を図るためや	受品を見なる。	器口を作品 と振ります。 となります。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない	□拡大を行い、地 Fり、専門機関へ と地域へ貢献する の、地域の活性化 」ながら、6次産 量されたコーディト ご活動をサポート	繋ぐ活動 活動 を図る活動 業を目指す活動
戍		果	す行ら	る活動を広範 前年度から継 った。令和元	にわたった。続している。	て行う る2名 設置	うことがいて について3キ ときを握に努	できた。 は、これまでの	経験を基 めは地域	に新た に馴染 る活動に	、地域振興及び な課題の解決に むために本市の に取り組んだ。 R1 6名	句けた活動を
成果	に係	る評価	口設人	ーチで地域活 置を想定して、材や多様な受	性化のた おり、加 入団体を	こめに コえて、 確保で	舌動する 令和2年 するため	ことができた。- 度中に1名が地均	- 方、本系 或おこし版 舌動やNPO	kは同時 協力隊員 法人ET		こし協力隊員の るので、新たな 人情報サイトと
			Г							21 95 PT	iのH酒中号	(単位:円)
子 竺	' ጥ ተ ታ	行状》		予算額		Ħ	等額			决 昇額	の財源内訳	
」/ 异	マンギバ	1110%	_					国(県)支出	金 地	方債	その他	一般財源
				20, 175	5, 000		19, 650,	386			19, 650, 38	6

_	ı	_									
予	2 款	総務費	総	章 心ゆたかな	誇れるまち	· 復	()				
算 科	1 項	総務管理費	合 第 4 1	前民が個性 輝ける機会		計	()				
目	7 目	地域振興費	画 (2)	市民の主体ツ活動を支		画	()				
	₹施計画 載ページ	P124	中事業	スポーツ交	流関係事業	業費					
事	業コード	005-004-002-01301	事 業 名	スポーツ交							
目的及	ბび事業内 容	幅広い参加者のもとえせ、スポーツ交流人口の事業内容としては、夏マンスイベントをはじる唱する「柔道」、「空号	D増加や一体原 東京2020オリン か、本市の豊か	Kの醸成を図る レピックの新種 Nな水辺空間を	とともに、 目として捋 活かしたカ	、技術の向 採用された カヌー体験	上と健康増 「スケート 教室、「武	進を図 ボート 道の街	図る。 ド」のパフォー 計 石巻」を提		
取:	組実積	1 石東部	ッとン 1.8 本 「 時あ創 ー む的 ン P の り し ス 1.0 さ 日 で る 出 の 日と ト 保 放 、	の 新競技 ボー ボー ボー ボー ボー ボー ボー ボー ボー ボー	思知伝 だに 手の重な 技たで 大高事 と、 沈支て催 体 は 大で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ートボーとを ートがある 一トがある 一トがある 一日がある 日的一体 日の体 日のの その その その そ。 した もっ とる ーである こっ と。 こっ と。 こっ と。 こっ と。 こっ と。 こっ と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。	で を 通じて で を 直じて で を を に で を を を を を を を を を を を を を	コリ ノ崖 う 競け サイン 日子 一	ートボーダー : 開催した。 ックカヌー競。 古来の武士道 も達の教育と の楽しさや魅		
		スポーツを通じた交別 1 石巻川開き祭りスケ 2 カヌー体験教室 3 石巻市長杯 第2回 4 陸上競技クリニック 5 体験型スポーツイベ	ートボードパ 「武道の街 そ i n 石巻	フォーマンス~	イベント体! 手道交流大	験会 参 参 大会 参	増加が図ら 加者数:74 加者数:35 加者数:94 加者数:26 止	S 名 名			
成	果		年度	参加者 目標値	数(人) 実績値	達成	戊率(%)				
			Н30	280		218	77				
			R1	280		398	142				
令和元年度は、スポーツ交流イベントの参加者数が増加したことから、スポーツを通じた交流の場を 創出するとともに、スポーツ交流人口の増加が図られた。 今後は、市長杯を冠した柔道・空手道交流大会及びカヌー体験教室が定着するよう見直しと検討を重 ね、改善を図るとともに、大勢の方に参加いただけるスポーツ交流イベントを企画立案していく必要が 成果に係る評価											
						.,	- niver : *		(単位:円)		
~ #-	のおないワ	予算額	決算額		1	決算額	の財源内訳				
7月	の執行状況			国(県)国	出金	地方債	その行	世	一般財源		
1		8, 500, 000	7, 274	1, 958			7, 00	0, 000	274, 958		

予	_ :	2	款	総務費	総	第	5 章	心ゆたかな	誇れる	まち	復	()		
算科		1	項	総務管理費	合計	第	4 節	市民が個性 輝ける機会			興計	()		
目		7	目	地域振興費	曲	(2)	市民の主体 ツ活動を支		ポー	曲	()		
	実施計 載ペ-		;	P 125	中	事	業	東京オリン	ピック	・パラ	リンピ	ック機運	10000000000000000000000000000000000000	費
事	業コー	- F	:	005-004-002-01302	事		名							機運醸成事業
目的及	及び事	業	内容	東京2020オリンピックピック種目の体験教室等絶好機と捉え、これまで和国の関係者等と市民と	を実施支援	施する をいか	るとと ただし	: もに、「復 いた国内外の	興五輪	」と称 対する	される 感謝・	同大会を御礼を示	本市の役長すため、	夏興情報発信の チュニジア共
取	組	実	績	1 (1) ホテンス (2) (2) (2) (2) (2) (3) チェカー Y 域た ニ内 A 成内 の ピス オ の で が で が で が で が で が で が で が で が で が で	段トトー水设ン、し フン バ野・oーる クッやタター泳を・Pたェと ル球・oツ事 聖クサウウ・選中バR。ス地・・振ーへ業 火聖	はシン 書心ラポータコー異 (のき ソピータンン 手心ラポータコー異 (のを)ソスト・ハーイを R新市 レリー	祉ェ治 事しンタ n学 一目 2.た内 一レ施ス体 前たピー い生 ボ的 2.な小「一	設テに 合事アを し等一と 4気学復に等ィよ 宿前ン作 のがルし 7づ校興先のれる 受合によし き動験野 参やで火ち察;手 れ及るた (会教球 加学宴)、	及 n 国 事び市が R 形室本 者び施記ギび利の 業貞民、 1.式(験 数にし念リ貞府紹 (山入新 8.で R イ ・つた・典シー) かっかい カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カ	山(R)、 2.1.1 (R)、 2.1.1 (R)、 2.1.1 (R)	交 24~ 2 24 27 27 27 27 27 27	交(5) ト 参業 感 名べ10 テンピン の で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を者才 背実 症 ン.2ィ 子 .2火実数ン 8 施 50 ー 60 た 響 実 が も か 10 を か 1 を か 1 を か 1 で 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を	た。 0名 ル利府店で実 3。 に 施名 い い い い い い い い い い い い い い い い い い い
成		į	果	大勢の方が「復興の火感謝の気持ちを発信するとの気持ちをきた。また、チュニジンとによれた経験したことによる	1国パ り、 年 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	もに、 ラ事 度 10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	東ピなる	京2020オリン ック委員会の 也としての 参加者 目標値 1,150 1,350 4及び一般展	・ピック スポー 致 (人) 数 (人) 実 示の開	・ ツみ 積 6,3 6催 6,3 6	リンヒ 等視祭 達 36 02 り参加	ポック競技 ボールができ で で で で で で で で で で で で で で で で で で	支大会に向 選手団の きた。) 50 11 大幅に増れ	同けた機運醸成 事前合宿等の受 し、東京2020
成果	に係ん	る評	価	オリンピック・パラリン開催に向けて、更なる根 ホストタウン事業によ るに当たり、水泳選手団 必要がある。	護運醸!	成にI は、⁴	取り糸 今後、	∄む必要があ オリンピッ	る。 ク選手	団、バ	ミラリン	ピック選	選手団の受	ē入れを推進す 刺の充実を図る
	_	-												(単位:円)
				予算額	2-	央算額	Ā				決算額	の財源内]訳	
予算	の執行	行状	況	了异创	<i></i>	へ昇音	R	国(県)	支出金	地	方債	7	の他	一般財源
				16, 534, 566		12,	740,	122	90, 000			10,	000, 000	2, 650, 722

予	2	款	総務費	総	第 6 章	地域の個性だ するまち	が輝き融和	復	()	
算科	1	項	総務管理費	合計	第 4 節	だれもが利用し を支える公共交		興計	()	
目	8	目	離島振興費	画	(2)	離島の交通 ^会 する	₣段を確保	画	()	
	₹施計値 載ペー		P140	中	事 業	離島振興対策	養			
事	業コー	ド	006-004-002-00015	事	業名	離島航路維持	寺事業			
目的及	なび事業	美内容	離島と本土をつなぐ『 の生活の安定、福祉の『 救急搬送のため田代島の	句上を	目的に航路	事業者に支	爰を行う。』	運航経営 st	定のための欠	員分補助、夜間
			1 離島航路維持費補助 安定的な航路運営を を交付した。 2 離島航路経営安定化	実現す	るため、国	1、県と協調	しながら、船	抗路維持費	食・島民割引の2	欠損分の補助金
			を間における患者の 交付した。			め、田代島・	への船舶及び	び船員を得	F機させる費用。	として補助金を
取翁	組実	績	3 離島住民運賃割引の3 唯一の交通手段であっ の運賃収入欠損分の補助	る離島:	航路の利便		め、島民の資	運賃割引を	₹実施し、国・!	県の補助対象外
			地理的条件の制約にているが、事業者の経治 上回り、令和元年度は た。	営努力 [・]	や観光施設	との復旧等に	よる観光客数	数の増加に	よって、輸送	人員は震災前を
			年度		H27	H28	H29	H30	R1	
成		果	離島航路利用者数	Į.	85, 553人	94, 376人	90, 084人	94, 310)人 104, 281人	
			近年は、2隻の新造船	の就舫	亢、中央地	区に新たな客	港地を追加	したほか	、鮎川営業所を	「観光物産交
成果(に係る	評価	流施設cottu」内に移転られた。 今後、門脇地区への前 航路維持に努めていく』	するた 唯島航	よど、利便 路駐車場の	性が向上した	。利用者が	増加した	ことで安定した	航路運営が図
										(単位:円)
			マログ		九笛が			決算額の	財源内訳	
予算(の執行	状況	予算額		夬算額	国(県)支	出金 地	也方債	その他	一般財源
			7, 615, 247		7, 615, 2	2, 34	5, 725			5, 269, 522
	_	_		_	_		_			_

予		2	款	総務費		総	第	章			復	(2)	市民の不安 での暮らし	を解消し、これま を取り戻す
算科		1	項	総務管理費		合計	第	節			興 計	(5)	生活環境	の整備
目		8	目	離島振興費		画	()			画	(3)	公共交通	の復旧
	€施記 載ペ		,	Р	191	中	事	業	離島振興対策	費				
事	業コ	– ⊦	*		003-01224		業		離島航路駐車					
目的及	ζび∓	事業	内容	している。 が進み、輸送	また、観光 送人員が増加	地とし [*] 加して(ても:	全国的	りに有名であ	り、観か R、観か	光客誘致に 光客など、	取り組ん 雑島航路	でいる。勧	要な役割を果た 見光拠点の復興 安全確保と更な
取着	組	実	績	2 離島航路 南浜雨水 航路排水計 3 離島航路	排水計画設 排水ポンプ 画設計業務 駐車場整備	計業務 場につれ を実施 業務	ながる	る排力	b (全8筆) の 大設備に接続 本事を実施した	ン、離!			水を排水で	するため、離島
				〇事業進捗	率(取得面和		項目		目標値	実	責値	達成率		
						R1	<u> </u>	+	4, 972m²		4, 972m²	10	00%	
成		:	果						び渉を実施し、 排水計画設施			取得が完	一	
成果	に係	る評	平価	画設計業務 排水計画 て進めていなお、駐	も完了し、 設計が完了 る。 車場整備予2	事業の注 したたる 定地周注	進捗が め、 辺に [・]	が図ら 誰島船 ついて	れた。 抗路駐車場流:	ま排水□ 事や南流	工整備工事 兵津波復興	を令和24 祈念公園	∓度内の完 整備、鎮 「	
											決 質刻	頭の財源!	———— 内訳	(単位:円)
予算の	の執	.行物	犬況	予算	額	ä	中算额	Į	国(県)支	出金	地方債		その他	一般財源
				34	, 803, 111		34,	802, 5	551		28, 400, 0	000		6, 402, 551

予		2	款	総務費	総	第 6 章	地域の個 するまち	性が輝き	融和	復	()			
算科		1	項	総務管理費	合計	第 4 節		用しやすい、 共交通を確保		興計	()			
目		9	目	地域交通費	画	(1)	だれもが 段を確保	移動可能を	な手	画	()			
	€施記 載ペ			P139	中	事 業	地域交通	対策関係	費	•					
事	業コ	− ŀ	;	006-004-001-00011	事	業名	住民バス	運行費補!	助事業						
目的及	すび≣	事業	内容	交通空白地域、不便均 で住民バス運行協議会で る。 地域交通は市民の日常の社会情勢に伴い、利利 運行協議会の交通維持/	を設立し 常生活で 用者が》	し、各地区 を支える ⁵ 咸少してに	図の実情に うえで非常 いる現状で	に応じた形 なに重要な であること	態で、 役割を から、	住民ノ	バス及 こいる	び が、	乗合タク 少子語	ウシーを運 高齢化の進	行す 展等
				地域の実情に最適な3 住民バスを運行した事業 また、石巻市内のバス 令和元年度運行協議	美主体/ ス運行/	こ対し、ネ 犬況をまと	輔助金を交 ≤めたバス	で付するこ	とで、	地域3	を通を	確保	呆した。		がら
l				名	称		運	行主体			運	行形	態	補助金額	額
İ				河北地区住民バス		河北地区		運行協議会	숲			寺定		6, 682, 8	
				雄勝地区住民バス		雄勝地区	住民バス	運行協議会	슾		定明	寺定	路線	20, 376, 8	47円
				河南地区乗合タクシ	_	河南地区	乗合タク	シー運行	劦議会		デマ	ンド	運行	7, 334, 9	61円
取	組	実	績	桃生地区住民バス		桃生地区	住民バス	運行協議会	숝		定明	寺定	路線	11, 366, 9	87円
				北上地区住民バス		北上地区	住民バス	等運行協詞	義会		定時	寺定に	路線	7, 490, 1	19円
				稲井地域乗合タクシ	_	稲井地域	乗合タク	シー運行	劦議会		定明	寺定に	路線	6, 735, 1	18円
				荻浜地区住民バス		荻浜地区	住民バス	運行協議会	숝		定明	寺定に	路線	4, 510, 1	85円
				山の手地区乗合タク	シー	山の手地	区乗合タ	クシー運行	行協議	숲	デマ	ンド	運行	3, 382, 0	99円
				水押・開北・大橋・	水明	水押・開	北・大橋	• 水明地	区住民	バス	ニ ー	٠. r	運行	3, 146, 9	46 III
				地区乗合タクシー		運行協議	会				ナヾ	ノト	理打	3, 140, 9	4011
						•	合計			•				71, 026, 0	70円
				住民バス及び乗合タクまた、地域の実情に応									った。		した。
İ				名		称		利用者数		便数	+	£II EE	R 者数	<u>'</u> 便数	
				河北地区住民バス				5, 501	_	1,674	_		005人	1,386亿	<u>_</u>
				雄勝地区住民バス				10, 346	_	8, 186			843人	7, 810	
				河南地区乗合タクシ				5, 266		3, 248		_	488人	3, 032	
成			果	桃生地区住民バス				8, 636		2, 338			627人	2, 304	_
水		;	*	北上地区住民バス				6, 871		1, 334		_	652人	1, 422	
				和土地区住民バス	_			8, 241		4, 394		_	537人	4, 378	
				が浜地区住民バス				3, 557	_	954			085人	282	_
				山の手地区乗合タク	シー			9, 013		4, 991	_	_	713人	3, 598	_
				水押・開北・大橋・		区垂合々	クシー	7, 651	_	4, 421	-		791人	3, 629	
					合計			65, 082		31, 540			741人	27, 841	
ct: III	住民バス及び乗合タクシーは、交通空白地域の住民の方々が、交通体系に対する不便を解消するために非常に重要な役割を担っていることから、地域住民の実情を踏まえ、運行経路等の運行内容を見直すなど、適宜、利便性向上のため取り組んだ。 今後は、仮設住宅の解消に伴い、震災対応の運行体制から、震災前の通常運行体制への転換に向け成果に係る評価 取り組むとともに、各地区の利用者の実態を把握しながら、更なる利用率向上のため、路線バスとの接続等を考慮したバスの再編を検討していく。														
	に係	る評	平価		> T 3 11/100 (
以 未	に係	る 評	平価		> T T VIIII ((単)	位:円)
火木	に係	·る評	平価	接続等を考慮したバスの						決算額	iの財	源内]訳	(単	位:円)
予算			щ			・算額		1)支出金		決算額	iの財		訳・の他		位:円) :財源

6, 707, 000

64, 319, 070

71, 026, 070

74, 361, 000

決算額の財源内訳 予算額 決算額											
科	予	2	款	総務費	総					()	
1 地域交通費	算 科	1	項	総務管理費	合計	第 4 節 き	れもが利用しやすい、 支える公共交通を確保	まする 言	<u>t</u>	()	
# 事業 コード 006-004-001-00012 事業 名 位施地区市民バス連行事業質	Ħ	9	目	地域交通費	囲			な手		()	
せ底地区は、主要県遺に路線パスが乗入れしているものの、それ以外の地区については、網地島。 きあい、公共交通体系が充足していない交通空白地帯となっていることから、住民の日常生活におけまた。 地域住民のための交通を維持していくうえで、地区内には交通事業者がいないことから、市が設立を維持していくうえで、地区内には交通事業者がいないことから、市が設立体となり、市民バスを運行することで、交通物者等の地区内の移動手段を確保することを目的とする。				P 140	中	事 業 生	土鹿地区市民バス	運行事業	費		
会め、公共交流体系が充足していない交通空白地帯となっていることから、住民の日常生活におけ、移動手段の確於が必要可なである。 地域住民のための交通を維持していくうえで、地区内には交通事業者がいないことから、市が運生生体となり、市民バスを運行することで、交通弱者等の地区内の移動手段を確保することを目的とする。 一部供用を開始した復興県道を通行する運行経路への変更のほか、震災対応から通常運行に転換するための運賃の見直しを実施した。 選行概要 単中 1億/日 土曜日 4億/日 (日・祝日・年末年始は原則運休) 治・清極館絵 平日 1億/日 土曜日 4億/日 (日・祝日・年末年始は原則運休) 治・清極館絵 平日 1億/日 (土・日・祝日・年末年始は原則運休) 治・清極館絵 平日 1億/日 (土・日・祝日・年末年始は原則運休) 治・清極館絵 平日 1億/日 (土・日・祝日・年末年始は原則運休) 治・清極館絵 平日 1億/日 (土・日・祝日・年末年始は原則運休) 治・清極の線 平日 1億/日 (土・日・祝日・年末年始は原則運休) 治・清極館絵 平日 1億/日 (土・日・祝日・年末年始は原則運休) 治・清極館絵 平日 1億/日 (土・日・祝日・年末年始は原則運休) 治・清極館絵 16億/日 (土・日・祝日・年末年始は原則運休) 治・清極部長 16億/日 (土・日・祝日・年末年始は原則運休) 治・清極の表面 16億/日 (土・日・祝日・年末年始は原則運休) 治・清極部長が高級となど、利便性向上に向けた取植を実施したが表面を含む。当該市民バスは、利用を開発を発酵の多道整備が未完了であることから、当該市民バスは、移動手段が表面となる。 1832人 運行便数 15,60人 15,424人 14,329人 教育日的利用 9,424人 9,523人 7,503人 運行便数 7,259便 7,286使 7,179便 教育目的利用 9,424人 9,523人 7,503人 運行便数 7,259便 7,286度 7,179便 教育自的利用区間 路線名 7,259便 7,286度 7,179便 教育自的利用区間 路線名	事業	ロー	ド		-						
及り、	目的及	び事業	内容	含め、公共交通体系が3 移動手段の確保が必要ス 地域住民のための交近 主体となり、市民バスで る。	を足して 下可欠で 種を維持 を運行す	ていない交 である。 特していく けることで、	通空白地帯となっ うえで、地区内に 交通弱者等の地	ているこ は交通事 区内の移	とから 業者が 動手段	、住民の日常生 いないことから を確保すること	活における。 、市が運行 : を目的とす
語線名 平日 13便/日 土曜日 4便/日 (日・祝日・年末年始は原則運休) 治一清優館線 平日 7便/日 土曜日 4便/日 (日・祝日・年末年始は原則運休) 治一大原線 平日 1便/日 (土・日・祝日・年末年始は原則運休) 治一大原線 平日 1便/日 (土・日・祝日・年末年始は原則運休) 治・大原線 平日 1便/日 (土・日・祝日・年末年始は原則運休) 素た、復興関連工事で整備している通学路の歩道整備が未完了であることから、当該市民バスは、小学校までのスクールバスとしての機能も兼ねており、小学生の安全な通学手段が確保された。市民/ス運行実績 日29 日30 R1 日銀川 15.760人 15.424人 14.232人教育目的利用 9.424人 9.523人 7.503人利用者数合計 25.184人 24.947人 21.832人 運行便数 7.259便 7.286億 7.179便 教育目的利用区間 新線名 有限一次の移動・発動手段として活用され、地域住民の足としての検診を持たない交通弱者の通防・ 動加金山〜鮎川線 下り4便、下り2便) 泊~清優館線 鮎川金山〜鮎川線 15.760人 第4.0年で10円で入口で入び製剤を表だけ、変更を一様で10円としていたが、復興期 25.74年の入口減少に伴い、利用者は年々減少している状況であるが、当該市民バスは、移動手段 25.74年の入口減少に伴い、利用者の経済の名動手段として活用され、地域住民の足としての検診を表だっ、変更を一様で10円としていたが、復興期 25.74年の入口がよりによった。また、小学生のスクールバスとしての機能も兼ねており、今後も進行を被じたの近としていたが、復興期 25.74年の入口がよりによった。また、小学生のスクールバスとしての機能も兼ねており、今後も進行を検討していて必要があることから、適切な路線の再編を検討するとともに、経済面や安全面の観点から車両の小型化を検討すると、地域の実情に応じたバス運行を実施していく。 第5.0年の財源内部 15.7年の 15.7年の 15.7年の財源内部 15.7年の財源の財源内部 15.7年の財源内部 15.7年の財源 15.7年の財源 15.7年の財源 15.7年の財源 15.7年の財源 15.7年の財源 15.7年の財源 15.7年の財源 15.7年の財源 15.7年の財源 15.7年の財源 15.7年の財源 15.7年の財源 15.7年の財源 1							5 連仃栓路への多	、史のはか	`、莀災	(刈心から週吊り	≧1丁Ⅰ~転1突 9
語線名 平日 13便/日 土曜日 4便/日 (日・祝日・年末年始は原則運休) 治一清優館線 平日 7便/日 土曜日 4便/日 (日・祝日・年末年始は原則運休) 治一大原線 平日 1便/日 (土・日・祝日・年末年始は原則運休) 治一大原線 平日 1便/日 (土・日・祝日・年末年始は原則運休) 治・大原線 平日 1便/日 (土・日・祝日・年末年始は原則運休) 素た、復興関連工事で整備している通学路の歩道整備が未完了であることから、当該市民バスは、小学校までのスクールバスとしての機能も兼ねており、小学生の安全な通学手段が確保された。市民/ス運行実績 日29 日30 R1 日銀川 15.760人 15.424人 14.232人教育目的利用 9.424人 9.523人 7.503人利用者数合計 25.184人 24.947人 21.832人 運行便数 7.259便 7.286億 7.179便 教育目的利用区間 新線名 有限一次の移動・発動手段として活用され、地域住民の足としての検診を持たない交通弱者の通防・ 動加金山〜鮎川線 下り4便、下り2便) 泊~清優館線 鮎川金山〜鮎川線 15.760人 第4.0年で10円で入口で入び製剤を表だけ、変更を一様で10円としていたが、復興期 25.74年の入口減少に伴い、利用者は年々減少している状況であるが、当該市民バスは、移動手段 25.74年の入口減少に伴い、利用者の経済の名動手段として活用され、地域住民の足としての検診を表だっ、変更を一様で10円としていたが、復興期 25.74年の入口がよりによった。また、小学生のスクールバスとしての機能も兼ねており、今後も進行を被じたの近としていたが、復興期 25.74年の入口がよりによった。また、小学生のスクールバスとしての機能も兼ねており、今後も進行を検討していて必要があることから、適切な路線の再編を検討するとともに、経済面や安全面の観点から車両の小型化を検討すると、地域の実情に応じたバス運行を実施していく。 第5.0年の財源内部 15.7年の 15.7年の 15.7年の財源内部 15.7年の財源の財源内部 15.7年の財源内部 15.7年の財源 15.7年の財源 15.7年の財源 15.7年の財源 15.7年の財源 15.7年の財源 15.7年の財源 15.7年の財源 15.7年の財源 15.7年の財源 15.7年の財源 15.7年の財源 15.7年の財源 15.7年の財源 1				運行概要							
取 組 実 績							道	[行状況			
取 組 実 積				寄磯~鮎川線	平	日 13便/日	土曜日 4便/日	(日・初	兄日・生	F末年始は原則i	重休)
取 組 実 額											重休)
復興県道の一部供用に対応した路線編成や運賃の見直しなど、利便性向上に向けた取組を実施したまた、復興関連工事で整備している通学路の歩道整備が未完了であることから、当該市民パスは、小学校までのスクールパスとしての機能も兼ねており、小学生の安全な通学手段が確保された。市民パス運行実績 129	取組	日宝	結			120, 1	(<u> </u>	・年末年	始は原	則運休)	
また、復興関連工事で整備している通学路の歩道整備が未完了であることから、当該市民バスは、小学校までのスクールバスとしての機能も兼ねており、小学生の安全な通学手段が確保された。 市民バス運行実績 H29	4X 11		小块	網地島線	5便	7日(年末	年始は原則運休)				
R1				また、復興関連工事で 小学校までのスクール/	で整備し	ている通	学路の歩道整備が	未完了で	あるこ	とから、当該市	天バスは、
教育目的利用				THE PERSON NAMED IN COLUMN	H29		H30	R1			
利用者数合計				一般利用	15,	760人	15, 424人	14,	329人		
東京の教行状況 東京の教行状況 下り発育の教行状況 下り発育の教行状況 下り発育の教行状況 下り発育 下り発育 下り発育 下の表別				教育目的利用	9,	424人	9, 523人	7,	503人		
#行便数	ьť		里	利用者数合計							
路線名 利用区間	122		*	運行便数	7,	259便	7, 286便	7,	179便		
寄磯〜鮎川線 寄磯〜小渕(上り4便、下り4便) 泊~清優館線 鮎川金山〜鮎川小(上り1便、下り2便) 牡鹿地区の人口減少に伴い、利用者は年々減少している状況であるが、当該市民バスは、移動手具を持たない交通弱者の通院・買物等の移動手段として活用され、地域住民の足としての役割を果たしている。震災後は、利用者の経済的負担を軽減するため、運賃を一律で100円としていたが、復興期の終了に伴う通常体制への転換を見据え、平成31年4月から運賃を一律で200円に改正した。また、小学生のスクールバスとしての機能も兼ねており、今後も運行を維持していく必要があることから、適切な路線の再編を検討するとともに、経済面や安全面の観点から車両の小型化を検討するよど、地域の実情に応じたバス運行を実施していく。							利田区問				
泊~清優館線 鮎川金山~鮎川小(上り1便、下り2便)					寄花	継~小渕 (事)			
を持たない交通弱者の通院・買物等の移動手段として活用され、地域住民の足としての役割を果たしている。震災後は、利用者の経済的負担を軽減するため、運賃を一律で100円としていたが、復興期の終了に伴う通常体制への転換を見据え、平成31年4月から運賃を一律で200円に改正した。また、小学生のスクールパスとしての機能も兼ねており、今後も運行を維持していく必要があることから、適切な路線の再編を検討するとともに、経済面や安全面の観点から車両の小型化を検討するなど、地域の実情に応じたパス運行を実施していく。 (単位: ***********************************											
を持たない交通弱者の通院・買物等の移動手段として活用され、地域住民の足としての役割を果たしている。震災後は、利用者の経済的負担を軽減するため、運賃を一律で100円としていたが、復興期の終了に伴う通常体制への転換を見据え、平成31年4月から運賃を一律で200円に改正した。また、小学生のスクールパスとしての機能も兼ねており、今後も運行を維持していく必要があることから、適切な路線の再編を検討するとともに、経済面や安全面の観点から車両の小型化を検討すると、地域の実情に応じたパス運行を実施していく。 (単位: 予算の執行状況 予算額					- 151/ 1	THE TYPE		db vo — £	7 /8	W=+	
予算の執行状況 決算額 決算額 (果)支出金 地方債 その他 一般財活					通院・買	物等の移		され、地			ムカシィウ
予算額 決算額 国(県)支出金 地方債 その他 一般財活	成果に	に係る	評価	ている。震災後は、利用の終了に伴う通常体制の終了に伴う通常体制のまた、小学生のスクーとから、適切な路線の平	ヽの転換 −ルバス 耳編を核	ぬを見据え、 くとしての 食討すると	平成31年4月かり 幾能も兼ねており ともに、経済面や	ら運賃を- 、今後も	一律で2 運行を	00円としていた 200円に改正した 維持していく必	と割を果たしが、復興期間 に。 な要があるこ
予算の執行状況 国(県)支出金 地方債 その他 一般財派	成果に	に係る	評価	ている。震災後は、利用の終了に伴う通常体制の終了に伴う通常体制のまた、小学生のスクーとから、適切な路線の平	ヽの転換 −ルバス 耳編を核	ぬを見据え、 くとしての 食討すると	平成31年4月かり 幾能も兼ねており ともに、経済面や	ら運賃を- 、今後も	一律で2 運行を	00円としていた 200円に改正した 維持していく必	な割を果たしが、復興期間 こ。 ら要があることを検討する
30 938 000 30 826 130 806 000 2 043 900 27 976				ている。震災後は、利月の終了に伴う通常体制の終了に伴う通常体制のまた、小学生のスクとから、適切な路線の早など、地域の実情に応し	への転換 ールバス 再編バス	や を見据え な としての 検討すると	平成31年4月かり 幾能も兼ねており ともに、経済面や	ら運賃を- 、今後も ・安全面の	一律で2)運行を)観点か	00円としていた 200円に改正した .維持していく必 .ら車両の小型((な割を果たしが、復興期間 こ。 ら要があるこ こを検討する
20,000,000				ている。震災後は、利月の終了に伴う通常体制の終了に伴う通常体制のまた、小学生のスクとから、適切な路線の早など、地域の実情に応し	への転換 ールバス 再編バス	や を見据え な としての 検討すると	平成31年4月から 機能も兼ねており ともに、経済面や もしていく。	ら運賃を・、今後もの安全面の決定を発生をある。	ー律で2 ・運行を う観点か	00円としていた 200円に改正した 維持していく必 から車両の小型((財源内訳	と割を果たしが、復興期間 に。 な要があるこ

_													
予		2	款	総務費		総	第 6 章	地域の個性が輝き するまち	融和	復	()		
算 科		1	項	総務管	理費	合計	第 4 節	だれもが利用しやすい、 を支える公共交通を確信	、生活 保する	興計	()		
目		9	目	地域交	通費	画	(1)	だれもが移動可能 段を確保する	な手	画	()		
		計画 ^{ミーミ}			P139	中	事 業	地域交通対策関係	費				
事	業=	э — I	*		004-001-00010	,	業名	路線バス運行維持			-		
目的2	支び :	事業	内容	るため 事業	、地域を跨ぐバス 内容としては、根	、路線。 株式会	と地域内 せミヤコ・	通弱者や運転が不安 を運行するバス路線 ーバスが運行する、 路線」の運行費に☆	泉の維持 合併前	を支持 の複数	爰するこ。 改市町を置	とを目	的とする。
				またさら	、令和元年10月か	Nら交i	通空白地(、維持するため、選 の解消及び利便性向 、市内のバス運行り	上のた	·め、7	5巻渡波約	線の運	行を開始した。
					路線名			運	行経路				補助金額
					石巻免許センク	ター線	石巻!	駅前~石巻あゆみ里	孙駅~□	赤病院	完		137円
					河南線		石巻!	駅前~傘松~河南絲	総合支列	f			5, 779, 601円
					石巻専修大学総	泉	石巻!	駅前~石巻専修大学	と一飯里	}JI			4, 428, 359円
				広均	_成 河北線		石巻	あゆみ野駅~鹿又駅	尺前~飢	5野川			9, 370, 164円
				バス	ξ			駅前~筒場~鮎川港					
				路約	。 鮎川線		石巻!	駅前~サンファン/	パーク~	∽鮎川浔	巷		12, 428, 551円
取	細	宔	結		高口 / 11 内水		イオ	ン石巻東店~荻浜~	〜鮎川港	<u> </u>			12, 420, 0011]
7^	4411	^	434					ン石巻東店〜サンフ			~鮎川港		
					女川線 (嵩上)			駅前~筒場~女川週					1, 784, 000円
					石巻専修大学総	泉		駅前~石巻専修大学					2, 952, 000円
					中里線			駅前~中里六丁目~			予駅		8,866,000円
				╽╽╆	山下門脇線			駅前~門脇五丁目~					1, 107, 000円
				単刻	,			駅前~いしのまき元			5 巻駅前		1, 375, 000円
				路約				駅前~蛇田~日赤痘					2,011,000円
					鹿妻線			駅前~さくら町西~				<u> </u>	6, 671, 000円
					- 46 be be 60 / a	- 1 10		駅前~いしのまき元				き東店	15, 618, 000円
				<u> </u>		≺ I. I0·	~) 石巻!	駅前~不動町一丁目	∃~17	ン石を	き果占		2, 539, 000円 74, 929, 812円
				L				合計					14, 929, 812円
				総じて	市の補助金額は増	曽加し つ	ている。	た路線が増加したか また、広域バス路線 系統であり、利用率	泉につし	いては、	国庫補助	助の対	象となる1日あた
成			果		年度			H 29		H30)		R1
13%			木		広域バス路線・	系統数	Į.	6路線6系統	6	路線63	系統	6	路線6系統
					うち1日あたり(15人以上の路線			2路線2系統	2	路線2署	系統	2	路線2系統
				口告	生活に むける 古日	2のな	高手即 对	保の観点から、持続	<u> </u>	文4負 バニ	7 た維持!	てい	ノーレけ 非常に
				重要で	ある。			木の既尽かり、行物 性例対応により、経					

	年度	H 29	H30	R1
Г	広域バス路線・系統数	6路線6系統	6路線6系統	6路線6系統
	うち1日あたりの輸送量が 15人以上の路線・系統数	2路線2系統	2路線2系統	2路線2系統

単本 この る。 国国庫補助金については、現在は震災特例対応により、輸送量の要件が緩和されており、全路線が国庫 補助の対象となっているが、令和2年度をもって震災特例対応が終了することから、利用率の低い路線 成果に係る評価 が国庫補助の対象外となる可能性があり、市の補助金負担が増加することが見込まれる。

平成31年4月からはICカードを導入しており、利用者の利便性向上だけでなく、利用者の実態を把握 することができる観点からも非常に重要な役割を持っていることから、今後は、利用者の現状を的確に 把握したうえで、利用者の増加や利便性向上を図るため、住民バスや鉄道等との接続を考慮した路線の 再編を検討していく必要がある。

(単位:円)

	予算額	決算額		決算額の	財源内訳	
予算の執行状況	了开识	八并识	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	78, 909, 000	74, 929, 812			33, 343, 095	41, 586, 717

予	2	款	総務費	総	第 1 章	ともに創る協働の	まち		()					
算 科	1	項	総務管理費	合計	第 2 節	市民のまちづくり する関心を高める	に対野	+	()					
目	10	目	男女共同参画推進費	画	(3)	男女共同参画社会 築する	·を構		()					
	実施計画 載ペー		P 15	中	事 業	男女共同参画推進	費							
事	業コー	ř	001-002-003-00017		業名	男女共同参画推進								
目的》	及び事業	業内容	男性も女性もすべての 参画する機会が確保され 男女共同参画社会の実致 進行管理及び女性人材育	ι、政決 見を目打	台的、社会 指し、総合	会的及び文化的利益 合的かつ計画的に推	を享受す	ること	こができ、	かつ#	に責任を担う			
取	組実	·	(2)調査 (2)調査 (2)調査 (2)調査 (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (5) (5) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (8) (8) (9) (7) (8) (9) (7) (7) (8) (9) (7) (7) (8) (8) (9) (7) (8) (8) (9) (7) (8) (8) (9) (7) (8) (8) (9) (7) (8) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	摩組標 基 真の ミ意修見一別らりるけらに、 推果の 本 等管 ナ臓 が 記ゆく男防参ジ、 計算を 一路 「か こりくりない。」	生は皆 画 ヘミ 一発性の男削暴的共対推資 審概を 第 女登 的意女除力啓同策進料 で 女登 の意女除力啓同策進料 で 女録 マ で で の の 発 参奏事配	当」との評価を得得を見した。 ない に基づいて、名の 事価 進進 大り に基づいて、名の 事集、活用促進」 が発画 といる では、 は、 た。 種男女共 講座 LEPRカ はRPRカ	同参呼がある。	到推進事業 等学校講 記布」	話」					
成		果	石巻市男女共同参画基本計画 (第3次) に基づく各種施策の実施により、男女共同参画社会の形成の 促進や意識啓発が図られた。 成果指標については、市の審議会・委員会等への女性委員の登用率の目標値は40%であるが、令和元 年度実績は25.8%だった。女性人材リストの登録者は市外への転勤・移住等により登録者数が4名減少 したが、新たに1名登録され139人となった。 1 審議会等の女性委員の登用率 区分 「一根では、」」は、「一根では、「一根では、「一根では、「一根では、「一根では、」」は、「一根では、「一根では、「一根では、「一根では、」」は、「一根では、「一根では、「一根では、」」は、「一根では、「一根では、「一根では、」」は、「一根では、「一根では、「一根では、」」は、「一根では、「一根では、」」は、「一根では、「一根では、」」は、「一根では、「一根では、」」は、「一根では、「一根では、」」は、「一根では、「一根では、」」は、「一根では、」」は、「一根では、「一根では、」」は、「一根では、」は、「一根では、」は、「一根では、」は、「一根では、」」は、「一根では、」」は、「一根では、」は、「一根では、」は、「一根では、」は、「一根では、」は、「一根では、」は、「一根では、」は、「一根では、」」は、「一根では、」は、「一根では、」は、「一根では、」は、「一根では、」は、「一根では、」は、「一根では、」は、「一根では、」」は、「一根では、」は、「」は、「」は、「」は、」は、「」は、「」は、「」は、「」は、「」は、											
成果	女性委員の登用率に関しては、関係課の委員改選時期に個別に女性人材リストの活用を働きかける等、より積極的な施策を検討する。 女性人材リスト登録者数については、周知方法等を再検討し、登録者数の増加を目指す。 男女共同参画社会の実現のためには、多様な層の意識の醸成が必要なことから、引き続き、関係課や 女性活躍推進会議と連携を図り、啓発セミナーや情報周知等において、有効な施策を実施していく。													
							决	算額の	財源内訳		(辛匹・口)			
予算	[の執行	状況	予算額	Ħ	學類	国(県)支出金	地方	债	その	他	一般財源			
			1, 313, 365		755,	135 181, 000					574, 135			
	_													

予	2	款	総務費	総	第	4 章	安心して健やかに せるまち	暮ら	佐	()		
算科	1	項	総務管理費	合計	第	3 節	安心して子どもを産み? れる支援体制を確立する	育てら る	復 興 計	()		
B	10	目	男女共同参画推進費	画	(1)	子育てを支援する を整備する	環境	画	()		
	関施計画 載ペー		P77	中	事	業	男女共同参画推進	費				
事	業コー	ド	004-003-001-01127	事	業	名	子育てパパ育成事	業				
目的及	ひ事業	《内容	育児に対する男性のことで、女性の社会進	意識改 出、女	革を[性の?	図り、 活躍の	夫婦がともに仕事 !進にもつながるこ	↓、家事 ことを目	下、育り 目的とす	見等を両 ける。	立させる	意識を醸成する
取	組 実	績	男性の育児を含むか、ッ 男性の育児を含むか、ッ また、事業所の修 (1)参加 ギャ者 21名イオン 2 家事が、単一者 21名イオン (1)参加 推 選ば象 1,865・(3)有効 活で働 (2)配 和 201 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を	育プナ き内 ミ内株 る本牛牛 一ぱ内性株児解女 改事 十在式 ア社 有 (『は在活式だ消女 改業 一倍会 ン、 有 イい倍額会	けセ性 革脈 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	なナ活 部保 勤包 ト所 収 ズクラ勤会包く一躍 下育 の括 調を 3 研じの議括、」。	家事に は は ままま ままま ままま ままま まままま ままま ままま ままま ま	別業 ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	分担詞 マンケ∽ とめる	意識があ - トを実 立場のた	るため、『	家事支援に焦点
成		果	女性活躍推進セミナー(イクボス研修)では、管理職だけではなく、人事・総務の担当者、職場環境を改善したいと考えている方などを対象としたことで、職場での立場に関わらず、ワークライフバランスの実現に向けた理解促進が図られた。また、家事ギャップ解消セミナーでは、講話・実習を通じて、家庭内における家事に関する意識・行動のギャップを解消するとともに、男性の家事や育児に対する理解促進が図られた。事業者アンケート調査により、事業所における女性の活躍を推進する上での課題や取り組み状況を知ることができた。									
成果	に係る	評価	イクボス研修におい り、受講生から高い評 また、参加者からは 男性の育児を含むワー	西を受 家庭	けて! でのi	いる。 育児ヤ	家事分担について	「意識	戦が変ね	っった」	との声がま	多く寄せられ、 がある。
									油管炉	の財源区		(単位:円)
予算	の執行	状況	予算額	ž	央算名	頂	国(県)支出金	地	次昇部 :方債	1	Nix 	一般財源
			1, 183, 525			937, 7						507, 505

_				ı				ウントーははん	- 本 >				
予		2	款	総務費		総	第 4 章	安心して健やか せるまち		復.	()		
算科		1	項	総務管理	費	合計	第 3 節	安心して子どもを産る れる支援体制を確立	y育てら する	興計	()		
目		10	目	男女共同	参画推進費	曲	(1)	子育てを支援す を整備する	る環境	曲	()		
		計画 ページ	,		P 76	中	事 業	男女共同参画推	進費				
事	業=	□ – ŀ	*		3-001-0112			親になるための					
目的》	及び	事業	内容	子供を産 メージを 中学生	み育てるこ 浮かべなが の生徒に乳	との意義 ら、夫婦: 幼児との	を理解して が共に育り 触れ合いる	競をすることによ こもらう。また、 記に関わる必要性 E通じて、子を産 こ世代を社会全体	自分の料 を啓発す み育てる	好来像(トる。 ゟことの	結婚→妇 D重要性	[娠→出産 を思春期Ⅰ	→育児)のイ こおいて理解し
				に引き続 赤ち間を ありま を 深めせ て	き、 の を 形 た 、 講 よ う よ ら う と う く た う う き う き っ う う う う う う う う う う う う う う	生から成っ こする体! 容にデー	長までの記 験をした。	をに対し事業を行 構義とともに、生 また、各校に乳 まか、性的マイノ	徒一人で 幼児親子	♪とりだ ヹが参加	が妊婦ジョロし、中:	ャケット(学生が乳タ	の着用を行い、 幼児とふれあう
Ħπ	紹	実	结	争某夫	於 数等 学校数	生徒数	(男/女)	親子数(乳	幼児数)				
44	加工	~	帜	H29	14校	977人	(504/47	3) 109約	129人	.)			
				H30	15校	854人	(448/40	6) 140約	158人	.)			
				R1	17校	1, 112人	(557/55	5) 171刹	1(211人	.)			
成		:	果	校での実 ふれあい また、	施となった の時間は、 ふれあい体	。妊婦体! 生徒たち 験に延べ	験や乳幼児 にとってす 171組の親	が増え、生徒数が さとのふれあいが 言を義な体験とな 子に参加していけ といただいている	中学生に っている こだき、	ことって	ては新鮮	であり、特	特に乳幼児との
成果	· ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	系る評	严価	生徒が「 るきっか 生徒にと ぶ貴重な	良かった」 けとなって こっては、話 体験ができ	「まあ良: おり、満: 構話や乳幼 ると同時!	かった」 足度の高い り児とのふ に、性に対	てると、妊婦体験: 回答している。 ・内容であること れあいを通じ、 『 すする正しい知識 迷続していく。	また、多 がうかか の大切	ろくの5 バえる。 さや子	生徒にと どもを育	って、自ź iてること	分の将来を考え の大変さを学 る意識の醸成な
										計算が	5 A B+ := -	h =0	(単位:円)
予質	∩≢	丸行状	÷;₽	予	算額	ž	央算額		1	决 昇額	[の財源の		
17 昇	- UJ 书	~1J1/	\nu i					国(県)支出会	赴 地	方债	- 7	その他	一般財源
					2, 803, 110		2, 503,	1, 250, 00	00				1, 253, 110

予	2	款	総務費	総	第 2 章	個性と創造性豊かな の担い手をはぐくむ		復	()				
算 科	1	項	総務管理費	合 計	第 3 節	新たな時代を創造 人材を育成する	する	āŤ	()				
目	11	目	国際交流費	画	(1)	広い視野を持つ人 はぐくむ	材を	曲	()				
	€施計 載ペ-		P34	中	事 業	国際交流推進費							
事	業コ-	- F	002-003-001-00585		業名	イタリアチビタベ							
目的及	なび事	業内容	支倉常長の功績によし、両市民の相互理解るため、両市高校生が	を図る。	とともに、	現代のグローバル	化に対						
取:	組	養	(2) 来 訪 者:チビュー 引 者:チビュー 引 者:チビュー 引 者:チビュー 引 者:チビュー ア 石 交 型 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	元 年12 / 年12 / 年12 / 年12 / 年12 / 年12 / 年12 / 年 / 年 / 年 / 年 / 年 / 年 / 年 / 年 / 年 /	月10日~1 キャ キャ 市 高議 場 へ の い は25 日本 と 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	8日(3泊4日) 8生及び専門学校生 員、行政職員、石 石巻高等学校、宮 規察訪問等 のため事業中止(事 (5泊7日) 「タベッキア市、ロ	巻友好協 巻 成県 石 マ 市 一 市	参好文館 クショッ	高等学校への訪 対プ2回開催後、	問見学及び 中止決定)			
成		果	チビタベッキア市かのもと交流事業が実現内容でえ、手ビタベッキア市現の客でえ、ままが実現の大きが異国の人々、言語できた。 青少年海外のできた。 青少年海外のできた。 青少年海外のできた。 オージができた。	した。: は本市の ア市して: (派遣)	各高校では の高校生に が を が に い で に し 、 参 加 に し 、 が に の 参 に の 参 に の 参 に の 参 に の あ が に の も に の も に の も に の も に の も る ら る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る る る る る る る る る る る る る	は、異国の地からの て高が生についてシ でるブレゼンテン・ ることができ、チ には、新型コロナウ 者は、先人達の偉動	訪問理等ベース・ビールで ・・ビールで ・・ビールで ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を、学れていた。 一学のでは、	交の特性を生かいてもられてもとがだいます。 でも美を通して、にあったのでは、 を持たいての理が 大予防のため中」 ベッキア市と本	した様々な交流できた。 できた。 多くの本市高校 解の促進を となったが、 市の繋がりを			
成果	に係る	5評価	会であり、異国の人々、文化、言語等に触れることにより、国際感覚を養う一助となるとともに、これまで長い年月をかけて両市民が築いてきた友好関係をより深めることができる大変有意義な事業であることから、次年度以降も交流事業の継続が必要である。										
										(単位:円)			
			77 000		L ## +=		ž	夬算額の	財源内訳				
予算	の執行	大沢	予算額	ä		国(県)支出金	地力	方債	その他	一般財源			
			9, 524, 200		2, 903, 2	10				2, 903, 210			

予		2	款	総務費	総	第 2 章	個性と創造性豊かな の担い手をはぐくむ	まち 1	复	()	
算 科		1	項	総務管理費	合計	第 3 節	新たな時代を創造 人材を育成する	百	ST	()	
目	1	1	目	国際交流費	画	(1)	広い視野を持つ人 はぐくむ	材を	曲	()	
	実施記 載ペ			P 33	中	事 業	国際交流推進費				
事	業コ	− ۴		002-003-001-00018	事	業名	温州市との友好都	市交流事	業		
目的》	及び事]業	内容	る 。	ンて、 i	両市の友好 結35周年の	子親善関係を促進す)節目の年となり、	⁻ るととも 相互の訪	が問交流	前市民の相互理解 ₹を中心に交流■	解を深めること
取	組	実	績	2 温州市政府代表の団 (1) 受入日程: 会和 (2) 来訪者数: 5名 (3) 内 容: 友好利 3 石巻市友好代表団の (1) 訪問問者数: 行政配 (2) 訪問問者容: 35周 (3) 内 ずる 4 第5回いしの程: 会和 (1) 要来訪者数: 4名 (2) 来訪者数: 4名	14 シ 入丘 市 温元的記し 現在 フ 会元里4 ト 友月 締 市月町念展 ラ月 き の112名	14日~16 ン・好25日 25日 25日 25日 25日 25日 25日 25日 25日 25日	日 系流試合、交流会、 結35周年記念事業展 日 (温州市 写集展) 記念式典の開催、温 好日 日 (記載 の開催、温 好日 (記載 日 年 記載 日 年 日 年 記載 日 日 年 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	市内視察 開催日程 開州市写真業 開催、 新開催、 新開催、 新田の東京 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	: 令和: [展の開] 「江(温]視察	元年8月26日〜9 引催、市内視察 品州)輸入消費品	
成		ī	果	友好都市締結35周年 流を活発に行うことが 真展開催により、広内 また、本市での市内 良さを確認していただ た。	できた。 可市民 現察や	とともに、 への相互理 輸入消費品	浙江(温州)輸入 里解を促進すること 品博覧会を通し、本	、消費品博 ができた 市の米や	算会 ^ :。 · 魚介類	、の本市ブースと 気について紹介し	出展及び両市写
成果	に係	る評	価	両になって、これまで長し 更に深めをしまができ、 もいのできると言が考した。 をいるできるとなった。 もののでする。 また、35周年記念事また。 なが収束した時には、『 交流内容を展開している。	相互(された) 引き、i 美を通 可市の	の協力体制 際には、派 両市の絆の し、今後の すばらしし	川の促進が図れたこ 温州市をはじめ、本 ○深さを改めて実感 ○経済交流や青少年	とから、 市を想う した。 交流につ	新型= 市民や いても	1ロナウイルスの 民間団体から 3 話があり、新型	D影響で日本で も感染予防のた ピコロナウイル Dため、様々な
											(単位:円)
							1	決	算額の	財源内訳	
予算	の執	行状	況	予算額	7		国(県)支出金	地方	債	その他	一般財源
				16, 315, 000		12, 768,	48				12, 768, 148

予	2	款	総務費	総	第1章	ともに創	る協働の	まち	復	()		
算 科	1	項	総務管理費	合計	第 3 節		度の高い を提供す		興計	()		
B	11	目	国際交流費	画	(2)	行政サー 上を図る	ビスの質	の向	画	()		
	施計画 載ペー		P15	中	事 業	国際交流	推進費	•				
事	業コー	۴	001-003-002-0124	3 事	業名	外国人相	談窓口開	設事業				
目的及	び事業	(内容	言語や生活習慣や らせるまちづくりを 提供、日本語教室や	推進するだ	ため、外国	国人相談窓	『口を設置					
取	組実	績	開設状況 (1) 月曜日: タガ国 (2) 火曜曜日: 中韓 (4) 水曜日: ベイン (4) 水曜日 (4) 水曜日 (5) 水曜 (7) 次曜年日 (7) 次 (7)	語(中国) 語語・計 域振興課・ 域振興課・ び振興課・ び が が が が が が が が が が が が が	人人通訳) 人人英語 (ペリ オ 補助 室について	《6月より》 〜ナム人通	不在 (訳) の学校等 タガログ		パール		日本語 台 3件	↑計件数 32件
成		果	新型コロナウイル 去2年間と比べると、 口の存在が外国人活 異国の情報を提供でして 関連を軽対し、住外国 担を軽対し、住外国 人工 大数 843人 【外国人相談件数 年度 H27 人数 843人 【外国人相談件数 年度 H27 目標績 39件 達成率 78%	15件以上間で徐々1 る外国人は で様々1 るを幕がませっ の状況】 H28 1,012人 】 H28 36件	・少ない相 に浸透った に はなって はなって はなって はなって はなって はなって はなって はなって はなって はなって はなって はなって はなって はなって はなっなっな はなっな はな はな はな はな はな はな はな はな はな は	談件数と さきている 各種手続き い存在であ	なったが、。 の通訳、 らり、ること R1 1,313人	新規 ² 市政情 人相談	相談者情報の持続窓口できた。	での件数 是供、I の設置I 50件	は約半数で 日本語教室の	あり、相談窓 D紹介など、あ
成果	に係る	評価	平成30年度に引き 平成30年度に新規 図れているが、課期 ことからるよりを体体 手を直する、 手を重する。 また、 いては、 ができたこ げることが できたこ	相談者より 力もるという 整。とじいる ではぱい	り「今ます 、新たにス ともに、ま た週末に Needs塾へ	で外国人村 ド市に転り 言語により 昇催してい の派遣を	I談窓口の してくる は は は いるじゃば たい、参加	存在を 外国人 にばら Needs	知られ へ必っ つきれ 塾や日	なかった ず外国。 がある。 本語教	た。」などの 人相談窓口の ことから、対 室への相談	の声が聞かれる D紹介カードが 対応する言語も 員の派遣につ の強化につな
									·+ //	- O - I - I	n	(単位:円)
予算の	の執行	状況	予算額	j j	快算額	国(県)支出金		決算部	順の財源	内訳 その他	一般財源
			922, 000		491,		, AH *		134		IB	491, 280

_																
予		2	款	総務費	総	第 1 章	ともに創る協働の	つまち	復	()						
算科		1	項	総務管理費	合 計	第 3 節	市民満足度の高いサービスを提供す	↑行政 ├る	興計	()						
目	1	1	目	国際交流費	画	(2)	行政サービスの賃 上を図る	便の向	曲	()						
	関施計 載ペ・			P16	中	事 業	国際交流推進費									
事	業コ	— I	*,	001-003-002-012		業名	日本語教室等開記									
目的及	及び事	業	内容	多文化共生社会推 人と日本人との交流 また、本市に居住 に補助金を交付する	の場を設 する外国	け相互理 人を対象	ቑを促進する「じ □日本語教室を運	ゃぱNee	ds塾」	を開催す	-る。					
					: ベトナ		進事業)(全6回) ノマー、インドネジ	シア、中	中国、日	本、台	湾(6カ国)				
				回数 人数			内									
					_		&ごみ分減量講座			77 (4.50						
					_	爻流尝①~ 茶道体験交	石巻専修大学理工 法合	字部研	究至天	省体駛	~	-				
				7111 -			<u>灬云</u> 正月料理実習交流	会				+				
							!」音楽教室交流					_				
				第6回 28	多文化3	交流会②~	石巻専修大学インター	-ナショナル雪	愛好会と	∠日本の	遊び体験~	-				
取	組	実	績	計 153人	<u>.</u>											
				0 HE L O + 40	D +=== **==		せいヘカム									
					外国人のための日本語教室開催等(補助金交付) 1) 石巻中央公民館教室(一般外国人対象) (2) 総合福祉会館みなと荘教室(技能実習生対象)											
					30人	9カ国	39回	H 29	, -	21人	1カ国	22回				
						15カ国	37回	H 30		38人	3カ国	23回				
				R1	45人	16カ国	33回	R1		40人	4カ国	24回				
				(3) 研修会・交流	会の開催		と防災研修会、									
						多文化を	は街づくりセミナ-	ーIn石を	き、いも	煮会交.	流会、クリ	ノスマス会、				
				外国人住民と大学生 深めながら、交流か	や主婦な 図られた	どの日本 <i>。</i>	者数が25名を超え 人住民が国籍、言 が増加している中、	吾、年齢	命に関係	なく、	様々な内容	字で相互理解を				
				楽しく生活できるよ												
成			果	【じゃぱNeeds塾:	参加人数1											
/~			,	年度 目標			達成率									
					00人	271人	135%									
					50人	182人	121%									
				R1 1	50人	153人	102%									
				じゃばNeeds塾の れ、日本語や日本文 る多文化共生社会を	化等を学	びながられ	目互理解を深められ	れたこと	とから、							
成果	に係	るi	平価													
					1							(単位:円)				
									決算額	の財源の	内訳					
予算	の執	行北	犬況	予算額	3	決算額	国(県)支出金		也方債	- 7	その他	一般財源				
				981, 00	0	688,	713					688, 713				
					1		ı									

予		2	款	総	務費		総	第 4		心して健やかに るまち	暮ら	復	()			
算 科		1	項	総	務管理費		合計	第 6		常の身近な安全 める	性を	興計	()			
目	1	4	目	交	通安全対	策費	画	(1		通事故の発生を る	防止	画	()			
	€施計 載ペ		,		Р	103	中	事	業多	通安全対策費						
事	業コ	— H	;	(004-006-	001-00002	事	業	名交	通安全推進事業						
目的及	なび事	掌	内容	し. け	、交通事 広く市民 るために	故の撲滅を に交通安全 警察機関、	図る。 思想の 交通安全	普及・ 全指導	浸透る 隊、3	機の高揚を図り、 〒図り、交通ルー ₹通安全母の会等 生進し交通事故防	·ルの遵 の関係	守と正	Eしい交 と連携し	通マナーの	の実践を習慣付	
					各種交通	5安全運動と	して下	記の単	事業を	実施した。						
					月	日		導	業	名			事業	美内 容	1	
					4 上旬	新入	生児童	に対す	する交流	通事故防止	5:	ンドセ	ルカバー	・、黄色い	帽子の配布	
					5 11~2	20 春 <i>0</i>)交通安	全運動	t)		広幸	最車に	よる広報	ーンの実 活動 による街		
					7 21~8	3/20 夏 <i>0</i> .)交通事	故防」	L運動		市幸	市報掲載による広報				
					9 21~3)交通安				交i 広幸	通安全 報車に	キャンペ よる広報	ーンの実		
					10 1~1/	/31 夕暮	れ時の	交通事	事故防.	上運動	市幸	市報掲載による広報				
					11 19					杲民大会	通事故	のない安	による交通安全運動の推進ない安全で快適な社会実現			
取	組	実	績			30 石巻市交通安全プロース 1~2/29 冬の安全運転1・					の意識	啓発活動				
												による広				
					1~31	年末	の交通	事故队	方止運!	動 交通安全指導隊等によ					頭指導	
					AL YT YE +:	-10/02/4			± 444 -£							
				١,		根絶活動と	こしてト						- +	·	,	
					月 5 11~2	日	第中人 2		業・伴る会		+ #	e . ±	事 第	-	による広報	
					22					《酒運転根絶活動 ·県民大会				識を高め		
					9 21~3					ステスス で で で で で で で で で で で で で り で り で り					による広報	
					11 27~3	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				作成配布			による周		ICO DIZITA	
					12 4~31		転根絶加			.,				示板による	広報	
					13	年末の	飲酒運輔	云根絶	キャン	ペーン	市區	内2店部	で啓発活	5動		
					2 22	飲酒運	転根絶戊	な報			新昂	引掲載				
					3 22		転根絶反					間掲載				
				_						9/30と11/22に市						
成			果	春季及び秋季の交通安全運動のほか、石巻市交通安全都市推進協議会等の関係 より、交通事故防止、飲酒運転根絶を推進し、交通安全意識の高揚が図られた。 ほか、各種広報活動により安全安心な交通社会への実現に寄与した。 交通安全指導際による街頭指導43回、学校等での交通安全教室61回を開催し、						。また 、 3	を通安全大会の					
				図.	ることが	できた。				学校等での交通安 ロ元年は歩行者、						
成果	に係	る評	平価	た. 至	、飲酒運	転根絶に向	けた活動	動によ	∶り、╡	の元年は少り省、 合和元年は前年よ 伝根絶の達成に向	り飲酒	運転	事故が減っ	少したもの	りの根絶には	
															(単位:円)	
					= :-							決算額	の財源内	勺訳	= /	
予算	の執	行制	状況		予算額 決算額 国(県)支出金 地方債						方債	₹	その他	一般財源		
					3	3, 300, 000		3, 3	800, 00	500, 000					2, 800, 000	

	2	款	総務費		第1章	ともに創る協働の	まち		()		
予算		項	総務管理費	総合	第3節	市民満足度の高い	行政	復 興	()		
科目		-	蛇田支所等複合施設建	計画		サービスを提供す 行政サービスの質		画			
4	■ 1/ ≷施計値	目	設事業費		(2)	上を図る			()		
	載ペー		P16	中	事 業	蛇田支所等複合施	設建設	事業費			
事	業コー	ド	001-003-002-01104			蛇田支所等複合施					
目的及	及び事業	美内容	現在の蛇田支所と蛇田また、蛇田地区は人口ることから、蛇田支所と	コが急却	曽しており	リ、将来を見据えた	:新たな	公共サー	-ビスの拠		
取	組実	績		3㎡ /クリ-	- ト造2階		389. 45	imî)			
成		果	令和元年12月に完成し 主な年次計画 平成28年度 基本計 平成29年度 基本設 平成30年度 建設工 令和元年度 建設工	画 計・実 事	施設計	共用開始した。					
成果	に係る	評価	令和元年度の工事を順	頁調(こ)	進め、1月	から供用を開始する	ることだ	ができた	٥		(単位:円)
							;	決算額σ	財源内訳	·	(辛四・円)
予算	の執行	状況	予算額	ä	學額	国(県)支出金	1	方債	その		一般財源
			162, 330, 094		161, 375, 3			600, 000			21, 775, 333
			, , ,		. ,		l		l		

予	2	款	総務費	松	· ∠ 무	の担い手を	性豊かな未来 はぐくむまち	()				
算 科	1	項	総務管理費	合第	3 節	新たな時 人材を育	代を創造する 成する	興 ()				
目	26	目	諸費	画		広い視野 はぐくむ	を持つ人材を	画 ()				
	関係計 載ペ−		P35	中事	業	非核平和	都市推進費					
事	業コー	- F	002-003-001-000	22 事 業	名	非核平和	推進人材育成事	業				
目的及	及び事	業内容	目的に、広島市が主 爆被爆者を講師とし	催する平和記	念式典	への参列	などを行う中学	生派遣事業及びす]の尊さを学ぶことを ∫内中学校における原 ∶図る。			
			以下のとおり事業	きを実施した。								
取	組 享	養	研対 研爆 日会 対講 テ 将和の で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	和元市 年8月5日 ドイス 高巻 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18	1 (月脇 の 4 日体全和 (い 市学文元を 主ぶ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	7日 (水) 田 、 生セ平界 のと は	験者講話の聴講 寺30分~午後3時 名 被爆体験証言者 資料館長) 念式典への参利 念、自身が不可	f 可や被爆体験者によ f動を行うことの重				
			l									
			区分	平和記念記			派這事業	被爆体	検者講話			
成	成果指標:研修参加人数 達成率等 講話参加人数 実施校 目標値 実績値											
			H29	8人		8人	100%	317人	渡波中学校 全学年			
	H30 11人 11人 100% 91人 青葉中学校 2年生											
	H31 (R1) 9人 9人 100% 190人 万石浦中学校 全学年											
成果	参加した中学生は、平和記念式典への参列や平和記念資料館の見学を通して、改めて平和の尊さを学び、研修後には文化祭等で、研修内容や実際に見て感じた戦争の悲惨さ、平和に対する思いなどを発表し、家族や友人のみならず広く市民に対して啓発活動を行った。また、被爆体験者による講話は、戦争の真の恐ろしさ、そして二度と戦争を起こしてはならないという平和への心からの思いに触れることのできる貴重な機会となっており、私生活ではあまり意識することのない戦争や平和を自身に関係のあることとして認識し直すきっかけとなっている。今後も非核平和の啓発や恒久平和に貢献できる人材の育成及び戦争の悲惨さを後世へと伝え続けるた											

成果

へと伝え続けるた | 今後も非核平和の啓発や恒久平和に貢献できる人材の育成及び |めにも、本事業を継続して実施していく必要がある。

(単位:円)

	予算額	決算額		決算額の	財源内訳	
予算の執行状況	了开识	八并识	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	2, 270, 000	2, 009, 538				2, 009, 538

予	2	款	総務費		総	第 4 章	安心して健やかに せるまち		復 _	()		
算科	1	項	総務管理費		合計	第 6 節	日常の身近な安全 高める	≧性を	興計	()		
目	26	目	諸費		画	(3)	安全・安心な暮ら 確保する	うしを	画	()		
実 掲載	を施計画 載ページ	;	Ρſ	105	中	事 業	防犯関係費					
事業	業コード	*	004-006-0				防犯灯普及事業					
目的及	び事業に						3灯のLED化を()町内会等の負担る					
			「石巻市 対して補助で		管理等衫	甫助金交付	†要綱」に基づき、	町内会等	等が維持	持管理	運営する『	防犯灯の経費に
			補助金交	付実績 補助金科	重別		交付件数	補助:	金額	_		
				規設置費補	助金		29件	5, 1	20, 000			
				換費補助金 気料金補助			72件 117件		35, 000 88, 000			
取制	組実	績	100,000	合計			218件		43, 000			
			が図られた。			こおける3	を全性の確保、犯験	作防止に?	寄与し	、地域作	住民の安全	全と安心の向上
			区分	裶	助金種	別		見指標 中間	e or	道	 建成率	
				7+×0 ντ ±c +6	設置費	補助金	目標値	実績 -	90灯	г	_	
成				炒儿火 新坊						-		
	-	果		防犯灯交換	費補助		635灯		643火		101.3%	
I	-	果			費補助		635灯		643灯 ,770灯		101.3%	
	-	果	R1	防犯灯交換 防犯灯電気	費補助 【料金補	助金	-	1	, 770灯	r	-	
成果に	に係る評		R1 を 地域にした。 を を今め、 たの	防犯灯交換防犯灯電気 防犯灯電気 する防犯活動 町内会等で終 を継続する。	養補助 料金補 動の推済 能持要が が も も も も も も も も も も も も も も も も も も	助金 進を図る か 理運営。まか	635灯 上め、防犯灯 L E I こいる防犯灯(蛍) こ、新規設置費補 に併せて事業を継続	O 化促進9 と灯残2,5 助金及び間	,770丈 策とし 331灯) 電気料:	て防犯:につい	ー 灯交換費 ^薬 NてLED	化を促進する こも、町内会等
成果に			R1 を 地域にした。 を を今め、 たの	防犯灯交換防犯灯電気 防犯灯電気 する防犯活動 町内会等で終 を継続する。	養補助 料金補 動の推済 能持要が が も も も も も も も も も も も も も も も も も も	助金 進を図る か 理運営。まか	- め、防犯灯 L E 「 にいる防犯灯 (蛍) こ、新規設置費補ほ	T 化促進等 と灯残2、5 功金及び冒 売する必引	第とし 331灯) 電気料: 要があ	て防犯! につい 金補助: る。	ー 灯交換費者 NTLED 金についる	化を促進する
成果に			ル域においた。 を交合を、 を今の をも を を を を を を を の 負担 を を の の も 、 の も の も と の も の も り し も り も り も り も り も り も り も り も り も	防犯灯電気	型費補助 (料金補 動の推送 (数が犯灯)	助金 重を図 る	- め、防犯灯 L E 「 にいる防犯灯 (蛍) こ、新規設置費補ほ	T 化促進等 と灯残2、5 功金及び冒 売する必引	第とし 331灯) 電気料: 要があ	て防犯:につい	ー 灯交換費者 NTLED 金についる	化を促進する こも、町内会等
		严価	R1 を 地域にした。 を を今め、 たの	防犯灯電気	型費補助 (料金補 動の推送 (数が犯灯)	助金 進を図る か 理運営。まか	- め、防犯灯 L E 「 にいる防犯灯 (蛍) こ、新規設置費補ほ) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	,770次 衰をとし 331気が 33電気料 変があ	て防犯:(こつい)金補助:る。	ー 灯交換費者 NTLED 金についる	化を促進する こも、町内会等

予	2	款	総務費		総	第章			復	(1)	みんなで築く災害に強 いまちづくり
算科	1	項	総務管理	!費	合計	第節			興計	(1)	新たな防災体制の構築
目	27	目	東日本大	:震災関係費	画	()			画	(4)	震災記録の継承
	実施計画 載ペー			P157	中	事 業	震災遺構整備	事業関係費	ł		
事	業コー	ド	001-10	04-002-01304	事	業名	震災遺構整備	请事業			
目的》	及び事績	業内容	伝えるた	:大震災による深: :め、旧門脇小学							化させることなく後世に る。
取	組実	: 積	平成30年本年間校施示儿。 中国 中国 中国 中国 中国 中国 中国 中国 中国 中国 中国 中国 中国	ポーザル選定要 度実績 意計業務完了 度実績 の一学校 高小学校体表の他工 記出事業手 記出事業 記出事業 記記事業 記記事業 記記事業 記記事業 記記事業 記記事業	(旧門服 構整備二事完了	a小・旧2 7 令和2 7 令和2 (工 和2 (工 和2 (工期	大川小) 年3月 年3月 : 令和元年12) 年3月 : 令和2年3月・	月~令和3年 ~令和3年3月	3月)	(旧門脇	小・旧大川小)
				【構整備方針に基 『業の進捗】	<u></u> うき、	事業の記	進捗を図った 。				
				区分			事業の進捗率			達成率	
						目標値					
				1100				実績等 0.004	(年度別)	00/
				H29		1	0.0%	2. 0%		20.	_
成		果		H29 H30		1					0%
			完成に向	H30 R1 協小学校 災遺構整備工事 で がより は が は が は が は が は が は り に り に り に り に り に り に り に り に り に り		明間に重複	0.0% 30.0% 70.0% 复することか	2. 0% 15. 0% 50. 0%		20. ± 50. ± 70. ±	0%
	とに係る		各種震 完成に向 2 旧大川 各種震	H30 R1 品小学校 変造構整備工事を 近け事業の進捗を 川小学校	E図る必 ■と周辺	明間に重れる要がある。	0.0% 30.0% 70.0% 复することかり 3。 備工事が同期に	2.0% 15.0% 50.0%	この協調	20. i 50. i 70. i	0%

国(県)支出金

決算額

274, 723, 381

予算額

309, 924, 000

予算の執行状況

決算額の財源内訳

地方债

その他

218, 153, 000

一般財源

56, 570, 381

予	2	款	総務費		総	第 1 章	ともに創る協働の		()		
算科	1	項	総務管理費		合 計	第 2 節	市民のまちづくり する関心を高める	に対 興 計	()		
目	27	目	東日本大震	災関係費	画	(1)	透明性の高い行政 進する	を推画	()		
	実施計画 載ペー:		Р	13	中	事 業	震災広報関係費、	震災遺構整	備事業関	係費	
事	業コー	ド	001-002-	001-00947	事	業名	オープンデータ活	用推進事業			
目的及	及び事業	内容	報をオープ 成やアプリ また、 I	ンデータと 制作等につ CTの利活	すること なげ、課 用による	で、デー 関解決と 震災伝達	直携を深めながら、 - タの二次利用を仮 こ地域の活性化を仮 るを推進するため、 こして利活用するた	≧進し、デー ≧す。 本市が保有	-タ利用者 iする震災	の自発的が 関連情報を	はIT人材育
取	組実	績	被災 変災 変災 変災 (1) 震デー (2) デ保 (3) に 大 を実プー (1) ご (1) ご (2) に (2) に (3) に (4) に (5) に (7) に	きの いまな かいまい で は で で かい がい で いっぱい で かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい	のいて、着 を備業務のの がごったに環境。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	被 (1)分云を の 報前 後 震用類承備 ニ 】 報情 の		から捉えた : 震災伝承: 引活用促進の をオープン	口述記録? 推進室連排 かための環	隽) よ境整備を3	
			ての活用以形式の活用以下のでは、 でのでは、 できまり できまる かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かい	外にも、将 化等を検討 国人が一のオー 成果指 ※解消され	来のより、大等、のる関プ	関模災害へ 利情報を記 は、一 達成	を援者各々の視点からの視点からの対応に活かせるを促進するデータの はにより、大学で取ら所した無料アプリー	データとし 環境整備か 双り組む調査	て、管理 「図られた 「研究に活 「人のデー	けるデータ :。また、7 :用されてU ·タ利用者I	タ項目や保存 5巻専修大学 いるほか、ご こより作成さ
成		果	H 29	目標値 3件	実績等	件 1009	Maria Mari				
			H30	2件		件 1009	インダーネット ん 【利用されたう	データ】:4	、共施設/	バリアフリ-	一情報
			R1	2件	2	件 1009	障害者の外出的 【利用されたう 市民のごみ出し	データ】:=	ゴミ出しカ	レンダー	
			<u> </u>	ļ			11200 200 200	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	7770,124	7171270 12	340 00
成果	に係る言	評価	(データ利 促進される 令和元年 訳版のリリ 集等を継続 るニーズを	用者側の負言とになる。 ではないではない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	担軽減が 副次か「これない」 されること なること	(図られる) (対果して) (が) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か	データ利用者の二6)というでは、またいできるは、できるは、できるは、できるは、できるは、できるは、できるは、できるは、	ことが最も こおいて外国 との連携し 引企業等との (データ)の	効果的で]人住民に た取組み)交流を深	あり、デー も利用して や先進事例 がデータオ	ータの利用が てもらえる翻 列等の情報収 利活用に関す D解決や行政
								決算	額の財源[力 訳	(単位:円)
予算	の執行料	犬況	予算	額	決	算額	国(県)支出金	地方債		その他	一般財源
			14	1, 298, 493		14, 298, 4	7, 568, 000			4, 838, 493	1, 892, 000

予	2	款	総務費	総	第	章			復	(2)	市民の不安 での暮らし	を解消し、これま を取り戻す
算 科	1	項	総務管理費	合計	第	節			興計	(1)		活・健康支援 医療の確保
目	27	目	東日本大震災関係費	画	()			画	(1)	被災者へ	の生活支援
	₹施計ī 載ペー		P182	中	事	業	震災広報関係費						
事	業コー	· ド	002-101-003-00357	事	業	名	市報復興情報発行	事業〔	復興基	金)		
目的及	なび事:	業内容	東日本大震災による び復興特集号を発行す		复興	事業の)様々な情報を迅速	配発信	するフ	ため	、毎	₮月市報1日	号への掲載及
			復旧・復興関連情報	を市報1	日号	·に毎	月掲載し、11月及7	び3月に	復興物	持集	号を	発行した。	,
			・住宅再建補助	融資無料 金の相談	相談	炎会 被災	紙面全16ページ中 ・住まいの復興給 者生活再建支援制 ・復興工事による	付金申 度の手	請相談 続き		情報	など	
取:	組		・ささえあいセ ・複合文化施設	・令和2年 点エリア 点ター素 整備状況	7整備 を備り で・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	情状汤 代況 自然	・東日本大震災 ・石巻駅前にぎわ 災害への備え な	からの い交流 ど	復旧、 広場伊	復! 共用	興事開始	業費説明	**************************************
成		果	復興に関わる情報を 図や現況写真等を使用 また、減災への高場に し、防災意識の高揚に	し、復見	興の物 るよ	犬況や	や復興関連情報を分	かりゃ	すくは	的確	に伝	えること	ができた。
成果	に係る	評価	中心市街地では、整 では、各地域拠点エリ 次年度は施設意識の 周知による防災意識の 業の完結を市報により	アの整備 ・ 備も進 の 向上に	備を(みハ- 努めな	云える 一ド事	など、やすらぎと 業情報も減少して	活力に	満ち	てい	るり防災	☆況を伝え ・減災な	る事ができた。 ビソフト事業の 残された復興事
									決算額	امة	計海	内部	(単位:円)
予算	の執行	状況	予算額	Ħ	等額	Ą	国(県)支出金			ינטא		ハ訳 その他	凯叶语
			8, 386, 000		Ω	385. 9		地	方債	\dashv		その他 8, 385, 960	一般財源
			0, 300, 000		Ο,	JUJ, 1	,,,,					0, 000, 900	

	1	1								1	tele 1 111 etc. 71
予	2 款	総務費	総	第章	È			復 .	(1)	かんなでいまちつ	・築く災害に強 がくり
算科	1 項	総務管理費	合計	第1	ń			興計	(3)	減災まち	づくりの推進
目	27 目	東日本大震災関係費	画	()				画	(3)	新エネル	·ギー等の活用
	₹施計画 載ページ	P 177	中	事 業	ス	マートコミュニ	ティ推	進事業	費		
事	業コード	001-303-001-00946	事	業 名	ス	マートコミュニ	ティ推	進事業	į		
目的及	なび事業内容	震災復興基本計画重点 図るため、再生可能エス 事業内容は、有事の限 理システムで総合管理し どもたちへの環境意識の	トルギ- 祭に避難 ノ、地 ^は	ーやIC 誰所とな 或のエネ	CTを よる公 ベルキ	活用したスマー 公共施設に導入さ ご一情報を見える	-トコミ れた太	ュニラ 陽光剤	ティ推進 そ電設備	事業に取 、蓄電池	り組んでいる。 をエネルギー管
取:	組実績	1 環境負荷軽減及び防さ、 (1) 平時は環境にやさ、強化を図る・ンドで、強化を図る・ンドでをのでです。 (1) 今和元年度・カールの日報の、アースクールの日程 イー実施用程 ⇒ ウーン・サージを ウーン・サージを ウーン・サージを (2) 収集した情報の分	しみ ス年校 タ 第第連 析いや ポ度を 加第第3連結 軽 回回回 県果	動環ス実器 ⇒ R1.1.2.日と と た5も	と付 クた済 難7.10.2 間にし金 ーモみ 朗 8~2 1	て、有事では移動 を活用しの取り組 ルDR)の取り組 デル校を選実施 近となる小・中・ - R1.7.12 1~R1.10.25 - R2.2.7 再生可能エネル=	気組み期 記録 おいま だんしょう おいまい おいまい おいまい おいまい まんしん おいまい まんしん かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい か	重を導 ごとに 30校 可効活	入(北」 実施期間 用の実証	上総合支所 引を1週間和 正運用を検	へ配備) 程度に延長した 計
成	果	1 令和元年度において 用した環生はの環境を また、は、本の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	取の報手 年とたり醸の法 度有。	みが析検 様における	いれ、行うには、からないのでは、から、行うには、からないできます。	節節で対す。 節電行動の工共生 事電ととともに名 事業者ととともに名 環境交な金を活用 環動可能な非常用	るに可行 明電 和電 和電 和電 和電 和 の の の の の の の の の の の の の	詳細こル来 総給なとギの 合を	分が一実 支可 さい さいかい さいかい さいかい でき すい でき でき でき でき でき でき きんりょう かいがく かいかい かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく	果 _{たこの} 共 共 用 所 発 力 日 等 も ま る も 等 も も も も も も も も も も も も も も も も も	ることができ 事の際の避難 た環境整備が .(公用車)を 内における防
成果	に係る評価	本事業は、補助事業のでいる方式を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	管と、、 では 理実ラッ働金車 で状をに がままれる。	びしきい態舌番のは生きのでは、またいでは、またいでは、またが、またが、またいでは、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが	伴可れ後で各電	見える化は令和 ミエネルギーの発 が大きく効果が は、指定避難所が らるか否かを常に も域への公用電気 むを活用した広範	12年 大 で は で で は に に に に に に に に に に に に に	を含きるるの	了する。 か施 校 を を 重 要 の 番 に 至 の で で で で で で で の で で の で う の で う の で う で う	これまでののようでは、これまで、これまで、これまで、これまで、これまで、これまで、これまで、これまで	、整備環境を 兄等を把握を 兄等を把踏まえ 可能エネ。 であるけ、環境 でずにさき、 いでき、 いでき、
		Π						4 笛 宛	の財源	力記	(単位:円)
予算	の執行状況	予算額	Ħ	學額		园/周) 士山人					前几日土公本
		7, 507, 000		6, 800	105	国(県)支出金		方債		その他	一般財源
		7, 507, 000		0, 000	, 400	2, 110, 230					4, 024, 109

			Γ	1				1			みんたで	築く災害に強
予		2 款	総務費	総	第	章			復	(1)	いまちづ	くり
算科		1 項	総務管理費	合計	第	節			興計	(2)	地域の力	でみんなで守
目	2	7 目	東日本大震災関係費	画	()			画	(1)	地域コミ 生支援	ュニティの再
	₹施計 載ペ・		P159	中	事	業	地域自治システム	関係費				
事	業コ	ード	001-201-005-00310	事	業	名	地域自治システム	構築支	援事業	美〔復興	基金〕	
目的及	なび事	業内容	平成22年、地域の特化 し、市民と行政による1 震災後、地域コミユニ 域の実情を考慮しながら	協働の ニティア ら、市I	まちつ が崩り 内165	づくり 裏し <i>†</i> エリフ	Jを推進するため地 ⊆中で、地域自治シマすべての地区の地	域自治 ステム 域自治	↑シス ↑ を進め ∤組織	テムの構 かるには 设立に向	築を進めて 難しい地域 け、支援を	ていた。 成もあるが、地 E行うもの。
取:	組:	実績	地域の食品を出来る。 (4) 地域の食品を出来る。 (4) 地域の実施を出来る。 (5) 地域の実施を出来る。 (6) 地域の実施を出来る。 (7) 地域の実施を出来る。 (7) 地域の実施を出来る。 (8) 地域の対象を出来る。 (9) 地域を出来る。 (1) がある。 (1) がある。 (2) がある。 (3) がある。 (4) がある。 (4) がある。 (5) がある。 (5) がある。 (6) がある。 (6) がある。 (7) がある。 (7) がある。 (8) がある。 (9) がある。 (9) がある。 (9) がある。 (9) がある。 (1) がある。 (2) がある。 (3) がある。 (4) がある。 (5) がある。 (5) がある。 (6) がある。 (6) がある。 (7) がある。 (7) がある。 (7) がある。 (7) がある。 (8) がある。 (9) がある。	D 戸 ム バテー ・	な 築 ザ築 動民ツ け名 ザ 事民民釜運 の 一を の自り た 「 一 業 ご アレゼ	営 隹 を図 ま台フ 『市 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	個性あふれる地域では、 は は は は は は は は は は は は は は は は は は	く 員 域 の額額額 修 会会前別り ひ 治 :::1、会 ワワツ	支援で 市幹許 ・シス・・ 761,6 353,0 155,8 ークク、 イ	す 那 テ	、 石巻 市 ・	注民自治組織交 研修会を実施 により、新たな 1円)
成		果	山下・河南・桃生の3 進された。 地域自治システムサァ となる住民自治組織が2	ポート∓	事業に	こより)住民自治組織設立					
成果	に係	る評価	住民自治組織の設立 の課題を地域住民が自 くりに向けた意識の醸 手法を再検討する必要が	解決	できる	る組織	哉かつ継続的な活動	ができ	る組織	哉とする	ため、住民	民主体の地域づ
									·+ ***			(単位:円)
- 予管	の軸:	行状況	予算額	ä	 、算額	Į				の財源		
1 24	~> +>6	111000	05				国(県)支出金	地	方債		その他	一般財源
			20, 060, 000		17,	032, 3	175, 940			1	6, 856, 382	

予 算 科		款	総務費	in	第	章			<i></i>	(1)	みんなで いまちつ	築く災害に強 くり
	1	項	総務管理費	総合計	第	節			復 興 計	(2)	世はの士	でみんなで守
目	27	目	東日本大震災関係費	画	()			画	(1)	₩₩₩Ţ	ュニティの再
	施計画		P 158	中	事	業	地域コミュニティー	再生関	係費		1-21/	
事業	業コート	ř	001-201-003-00305	事	業	名	コミュニティ形成	支援補	助事第	美〔復興	基金〕	
目的及	び事業	内容	1 コミュニティ形成支 震災の影響で住民自治 の場が少なくなっている 動やコミュニティの形成 復興公営住宅が区域内 ミュニティ形成のきっか	組織 に促進する にままする によった にはずる にはずる にはずる にはずる にはずる にはずる にはずる にはずる	(町にから) という という という という という という という という という という	内会 会 も も 事 た は と す る	i)による祭りなど 主体で開催する交)。 :民自治組織が、復 :もの。	流事業 興公営	は住宅が	に補助を 入居者と	行い、住民	民自治組織の活
取糸	組実		住民自治組織が主体とまた、復知機能を関係を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を	入ン 緩体つり 二営る営民が 助よさレ イ宅業 雪	者等 事る 手ク 促入 に とを 業地回り 進居 こ	問行 (以まエ 事者 うび) (以まエ 事者 き	:民との交流会等に制度の活用を促し 設分) くりやコミュニケー としょン大会、清掃記 び地域内住民のコミ 回限りまでとし、よ	対する ーショ: ーショ:	o補助 かか	金につい りを推え 、敬老れ	進するため 庁事等	の事業
成		果	コミュニティ形成支援 自治組織等を主体とした ティの育成促進が図られ コミュニティ形成支持 地区名 補助金交付 (単位:1 中29 H30 石巻 95 102 河北 14 17 雄勝 6 4 河南 32 31 桃生 10 7 北上 3 3 牡鹿 4 4 4 計 164 168	だ (注 (注 (注 (注 (注 (注 (注 (注 (注 (注	事業	か復り 分 (F 所助金 8,7 1,5 3,0 6 3 2 14,6	- 般分) 1 交付額 15,858円 56,566円 59,402円 16,352円 14,045円 56,339円 70,809円 29,371円	復興公民名	公営住 補助: (単 H29 4 4	ア 空コミコ 金 金 交 付 は 位 は は は は は は は は は は は は は	ユニティ促 ・	ル、コミュニ 進事業分 R1 加金交付額 814,939円 814,939円
成果に	こ係る言	平価	コミュニティ形成支援 地域の活性化が図られて いての検討が必要とされ 復興公営住宅コミュニ たことにより、助成件数	きた。 る。 ティ(,住! 足進 []]	民自治 事業に	組織の活動低下を ついては、補助金	招かな を活用	いよ [.] Iしてに	う、今後 いない住	の事業継結 :民自治組結	売の在り方につ 歳に活用を促し こと思われる。
									24 W C	5 A P-127		(単位:円)
予算0	の執行も	犬況	予算額	Ħ	中算	Į.	国(県)支出金		決算图 方債	頭の財源	内訳 その他	一般財源
			17, 815, 000		15,	444, 3	+	ᄱ	.刀 艮	-	4, 629, 371	NX NA NA

~ I	2	款	総務費	413	第	章				(1)	みんなで いまちつ	築く災害に強 くり
予 <u></u> 算 科	1	項	総務管理費	総合計	第	節			復 <u></u> 興 計	(2)	地域の力	でみんなで守
	27	目	東日本大震災関係費	画	()			画	(1)	る 地域コミ 生支援	ュニティの再
	施計画		P159	中	事	業	地域コミュニティ	再生関係	養		1218	
	美コー		001-201-003-00306	事	業	名	集会所等コミュニ	ティ施設	设旧生	を備事 🧵	業〔復興基	金〕
	び事業		【目的】 市民と行政の協働のま 「内容】 東日本大震災により利 目的である既存建物・コ 1 被災集会所の新築及 (1)土地取得 1件(対 (2)初期備品 1件(そ 2 被災集会所の新築事 (1)交流活動 2件(そ	が が が が が が が が と 地 に が と 地 に で に を 地 に に で に で に で に で に で に に に が に に に が に に が に に が に に が に に が に に が に に が に に が に に が に に が に に に に に に に に に に に に に	た集会事業と対象を表する。	会所の 事業へ (石: 動(新築、改築、増築 の補助を行うもの。 巻市東日本大震災被 被災地域交流拠点施	。 按 災集会	所建設	'費等補		こして使用する
			地域住民活動の拠点が りの推進が図られた。 1 石巻市東日本大震災 (1)土地取得 1件 長尾自治会(北上	被災集	団体			事 1, !	業費 916, 00		補助金	通 000円
成		果	新西前沼第三復興		団体 号棟[団地会	会 (石巻)		業費 500,00	0円	補助金	狼 000円
			2 被災地域交流拠点施 (1)交流活動 2件 団体 不動町町内会(石 につこり自治会(計	* 巻) 北上)	事業	補助	事業費 251,119円 500,038円 751,157円		功金額 246, 00 470, 03 716, 03	8円		
			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	_	_	_						
成果に	に係る	評価	東日本大震災被災集会会所の土地取得事業が1 被災地域交流拠点施設者 震災により被災した地 市民と協働のまちづくり	件、新 を備事 む域コ	市街 業補助	地に 1金に - ティ	整備された復興公営 よる交流活動への 活動の拠点である	営住宅集 補助も3	会所の 年間の	初期備	情品が1件で 月間が終了	である。また、 となった。 りは果たされ、
述果 に	に係る	評価	会所の土地取得事業が1 被災地域交流拠点施設素 震災により被災した地	件、新 を備事 む域コ	市街 業補助	地に 1金に - ティ	整備された復興公営 よる交流活動への 活動の拠点である	営住宅集 補助も3 集会所に	会所の 年間の	初期値補助其る整備	情品が1件で 月間が終了 事業の目的	である。また、 となった。

716, 039

1, 689, 039

973, 000

1, 773, 000

予		2 款	k	総	務費	総	第	章			復	(1)	みんなで いまちつ	葉く災害に強 ぎくり
算科		1 項	Į	総	務管理費	合計	第	節			興計	(2)	地域の力	でみんなで守
目	2	7 ⊨	1	東	日本大震災関係費	画	()			画	(1)	地域コミ 生支援	ュニティの再
	実施記 載ペ				P 158	中	事	業	地域コミュニティ	再生関	係費			
事	業コ	ード			001-201-002-00929	事		名	地域づくりコーデ					
目的》	及び事	事業内	容	たる	主民自治組織の推薦を めに行う、住民主体に の回体より申請があり	こよるは	也域 [·]	づくり	リやコミュニケーシ	/ョング	5 (H	を支援す	る事業に対	対し補助する。
				を1	行い、補助金を交付し	た。								
				[令和元年度採	択団体	名		4	業名				補助額
					1 一般社団法人サードステージ			牡	鹿半島地域づくり:	コーデ	ィネー	-ト事業		2, 489, 000円
					2 特定非営利活動法 ぱんぷきんふれあ			る	地区復興公営住宅 「顔の見える関係」 向けた住民育成事	」の構築				2, 500, 000円
取	組	実	責		3 一般社団法人 ヒガシミノ団地				町2丁目・4丁目の 醸成と町内会再編			のための)環	1, 984, 313円
					4 一般社団法人 石巻じちれん				市街地(のぞみ野 化、連携強化事業	・あゆる	み野)	の住民力	1活	1, 842, 808円
					一般社団法人 BIG UP石巻	ļ			・大街道地区におり デル事業	ける包持	舌的な	:地域づく		2, 500, 000円
				l	計								1	1, 316, 121円
成		果		2 【 3 【 4 【 5 【	一般社団法人 サード 主民同士の連帯感を認 特定非営利活動法人 町内会活動の支援、も で般社団法人 ヒガミ 一般社団法人 は可法人 石 町内会同士の連携強し 「一般社団法人 BIC 「一般社団法人 BIC 「一般社団法人 BIC 「一般社団法人 BIC	ピ ピンはころい がんけい はいまとちの 、 しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん し	がぷー団っんかP民 らき開地た】、石主	(住) (住) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は	れあい会】 こより、住民主体に 丁目の2町内会を合 所「住民の居場所つ	こよる互 i流させ がくり」 i動を支	[助活] - 、再 の活! :援す	動の創出 構築する 動が活性 ることが	につなが・ ことがで; 化した。 できた。	った。
成果	:に係	る評価		流流	N P O 等の市民公益活 舌動の活性化や地域記 再生及び再構築を配 ーションづくりに寄り	課題の記ること	解決し	に向(に対す	けた活動につながり ける一定の成果を上	、本補	助金	の目的で	ある「住」	民自治組織の強 りやコミュニ
			ı											(単位:円)
3 畑	⊕±	« علر <u></u> «			予算額	Ħ	中算名	Ą		ı	決算額	質の財源に	勺訳	1
	.の執	行状》	兀						国(県)支出金	地	方債		その他	一般財源
					11, 989, 000		11,	316,	121			11	, 316, 121	

	2 款	総務費		第章	章				(1)		築く災害に強
予 算	1 項	総務管理費	総合	第1	竹			復興	(2)		くり でみんなで守
科目	27 目	東日本大震災関係費	計画	()	+			計画		か 	ュニティの再
9	を 実施計画				+				(1)	生支援	
	載ページ	P 159	中	事 業	地	!域コミュニティ	再生関	係費			
事	業コード	001-201-003-01261		業名		(仮称) 大川地区					
目的及	及び事業内容	地域コミュニティのとともに、震災によっティ施設を整備する。									
取	組実積	コミュニティ施設建設 平成30年度 1 用地購入及び工作物 2 地質調査(ボーリン 3 基本設計完了 令和元年度 ○令和元年11月設計業 1 設計業務委託 2 建設工作機 3 支障木伐採業務等	建物・一般を表現である。	: 木延駐 完 字 完 う	平屋	建屋根ガルバリウ 597.69㎡ 責 46台 (うち障	宇者用	月駐車 均		工事等発注	Ē
成	果	(仮称) 大川地区地域 なお、主な年次計画 1 令和2年10月駐車場署 2 令和2年10月道路整 3 令和3年1月工事完了	は次の & 体工事発	とおりて 発注予定 注予定	である。	ò •					
成果	に係る評価	大川地区の地域交流	の拠点と	として、	令和	03年1月の完成に	向け、	今後:	も事業を	推進してい	(単位:円)
								決算額	頭の財源!	 内訳	(十二:11/
予算	の執行状況	予算額	決	算額		国(県)支出金	tst	方信		その他	—————— 一般財源
		172, 438, 100		160, 933	3 670		,	,/」 只		7, 289, 000	53, 644, 670
		172, 430, 100		. 50, 500	5, 570	1			'0	,, 200, 000	00, 044, 070

予算科目 1 項 総務管理費 第 節 27 目 東日本大震災関係費 第 節 () 実施計画 掲載ページ P160 中 事 業 地域コミュニティ再生関係費 事業コード 001-201-005-00678 事 業 名 復興応援隊設置事業 横浜と地域の将来を担う人材の育成を行い、被災地の地域づくりを目的経するため、一定期間、地域住民の活動を支援する。	(1) みんなで築く災害に強いまちづくり (2) 地域の力でみんなで守る (1) 地域コミュニティの再生支援
料目 1 項 総務官理員 27 目 東日本大震災関係費 計画 実施計画 掲載ページ P160 中 事 業 地域コミュニティ再生関係費 事業コード 001-201-005-00678 事 業 名 復興応援隊設置事業 被災地の自治機能回復と持続可能な地域コミュニティの構築を長期的解消と地域の将来を担う人材の育成を行い、被災地の地域づくりを目的進するため、一定期間、地域住民の活動を支援する。	(1) 地域コミュニティの再
27 目 東日本大震災関係費	
掲載ページ	
被災地の自治機能回復と持続可能な地域コミュニティの構築を長期的 解消と地域の将来を担う人材の育成を行い、被災地の地域づくりを目的 進するため、一定期間、地域住民の活動を支援する。	
解消と地域の将来を担う人材の育成を行い、被災地の地域づくりを目的 進するため、一定期間、地域住民の活動を支援する。	
令和元年度復興応援隊設置事業委託契約額等	
地区 隊員数 契約額 内容	± = A
・地域住民の参画による地域の3 中央 3人 12,829,300円 ・人材の育成と市民団体の連携 ・地域の子どもたちへの震災伝	構築
3人 雄勝 ※当初 4人 ・ 「月刊おがつ」の発行 ・ 仮設商店街などの連携による行	復興イベント ほか
*・自治会、各種自治組織支援及は *・地域行事及び復興イベント等は *・北上地域における復興経緯の	の開催支援
5人 ・まちづくり協議会の開催支援 牡鹿 ※延べ 7,905,600円 6人 ※8月業務完了 ・地域復興イベントの開催	
計 47, 647, 800円	
地区 成果	
南浜つなぐ館・・・開館231回、4,296件(延べ16,323人)へ 中央 震災伝承プログラムの実施・・・252件 「あの時プロジェクト」の実施・・・聞取り協力者14名	への語り部対応 ほか
地域コミュニティ紙「月刊おがつ」の発行・・・12回 雄勝 交流スペース等を活用した地域コミュニティ再生プロジェク 仮設商店街や支援団体との復興イベント・・・3回 ほか	
自治会等に対するワークショップ開催支援・・・3組織(計 北上 地域行事及び復興イベント等の開催支援・・・10行事	6回) ほか
まちづくり協議会の開催支援・・・5回 牡鹿 鮎川港移動型トレーラ―休憩所自治会の開催支援・・・5回 地域復興イベント開催支援・・・4回 ほか	
牡鹿 鮎川港移動型トレーラ―休憩所自治会の開催支援・・・5回	際は、平成24年度から宮城県事れたとともに、被災地における
牡鹿 鮎川港移動型トレーラー休憩所自治会の開催支援・・・5回 地域復興イベント開催支援・・・4回 ほか ほか を地区における復興プロジェクトを推進するため設置された復興応援業として、平成29年度以降は石巻市の事業として実施されている。 4地区で展開される事業を通して、地域コミュニティの再構築が図られ新たなコミュニティネットワークの形成に寄与した。また一部地区にお	隊は、平成24年度から宮城県事 れたとともに、被災地における いて、復興完了後も継続する事
対鹿 鮎川港移動型トレーラ―休憩所自治会の開催支援・・・5回 地域復興イベント開催支援・・・4回 ほか	際は、平成24年度から宮城県事れたとともに、被災地における
性鹿 鮎川港移動型トレーラ 体憩所自治会の開催支援・・・5回 地域復興イベント開催支援・・・4回 ほか	隊は、平成24年度から宮城県事 れたとともに、被災地における いて、復興完了後も継続する事 (単位:円)

算 ┃ 1 項 │ ☆ ☆ ☆ ┃ 日 │ 毎 ☆ ☆ ┃ 甲 ┃ 月 │ │ 八 ↑ │ 迅速な生活・健康支援	予	2	款	総務費	総	, and	第	章				復	(2)	市民の	の不安を 事らしを	を解消し を取り戻	、これま す
東日本大震災関係費	算 科	1	項	総務管理費	合 計	Ç	第	節				興	(1)				
# 東		27	目	東日本大震災関係費	画		()				画	(1)	被災	者へ	の生活	支援
震災後、本市の交通を取り巻く状況は大きく変化し、応急仮設住宅への入居を余権なくされた被災をの方々も多くいることから、被災者のニーズに対応した交通サービスを提供し、被対者支援を実施することを目的とし、全区間一律100円の低度な速質の循環パスを運行し、運行主体に対して運行費補助を依認使を連携する。 応急仮設住宅人居者のバス利用に対する負担軽減及び日常生活における移動手段を確保するため、依設住宅を循環すると選行事業者に対し、運行費補助を行った。 なお、石巻市内仮設住宅循環線は、仮設住宅の解消に伴い、令和元年9月末をもって廃止した。 令和元年度の運行状況(H31.4.1~R1.9.30) 訴縁名 主な経由地 運行主体(補助対象) 補助金額 石巻駅前、大橋、間 成、日赤病院、蛇田 (根・日赤病院、蛇田 (根・日赤病院、蛇田 (根・日赤病院、蛇田 (根・日本病院) (根・1.346,388円) (根・1.346,388円) (根・1.346,388円) (根・1.346,388円) (日・一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一				P 185	中	事	Ē	業	被災地域交	通対策	関係費	} :						
の方々も多くいることから、被災者のニーズに対応した交通サービスを提供し、被災者支援を実施する。 応急仮設住宅人居者のバス利用に対する負担軽減及び日常生活における移動手段を確保するため、仮設住宅循環する選行事業者に対し、運行責権助を行った。 なお、石巻市内仮設住宅循環線は、仮設住宅の解消に伴い、令和元年9月末をもって廃止した。 令和元年度の運行状況(H31.4 1~R1.9.30) 補助金額	事業	業コー	ド	002-101-005-00361	事	業	ŧ	名	応急仮設住	宅バス	運行事	業						
仮設住宅を循環する連行事業者に対し、運行費補助を行った。 なお、石巻市内仮設住宅循環線は、仮設住宅の解消に伴い、令和元年9月末をもって廃止した。	的及	び事業	中容	の方々も多くいること ことを目的とし、全区	から、	被	泛者	*の=	ニーズに対応	した交	通サー	-ビス:	を提	供し	、被災	災者支	援を	実施する
取 組 実 積				仮設住宅を循環する遺 なお、石巻市内仮設	置行事業 设住宅循	者/環網	こ対線は	すし、 は、 仮	運行費補助 取設住宅の解	を行っ	た。							
取 組 実 積					犬況 (H	31.	4. 1			運	行主体	太 (補	助対	象)	1	補助	力金額	
令和元年度は石巻市内仮設住宅循環線のみの運行であったが、低廉な運賃体系により、仮設住宅入居者の負担軽減が図られるとともに、ニーズに対応した生活交通を確保することができた。	取糸	组 実	績		盾環線			駅前	、大橋、開							4, 34	16, 388	H
者の負担軽減が図られるとともに、ニーズに対応した生活交通を確保することができた。									合計						\dashv	4, 34	16, 388	円
放				◇ 和元年度は工業→	内伤部	·台·	之犯	新豐卯	タクタン アマイ	~ # ~	t-18	仟 廢:	<i>†</i> ≀:'∓	信み	玄戸り	+ L1	仮訟≠	: 호 7 5
アリス アリ				者の負担軽減が図られ	いるとと				-ズに対応し	た生活				こと	ができ		仮設(主宅入局
桃生地区仮設住宅線				者の負担軽減が図られ	はるとと <u>ス</u>	€ 1		<u>-</u> -	-ズに対応し H <u>3</u> 0	た生活	交通を	·確保 ⁻	する	ے ک	ができ	きた。		主宅入居
成 果 合計 19,712人 3,175便 4,942人 744便 ※ 仮設住宅の解消に伴い、河北地区仮設住宅線、桃生地区仮設住宅線は平成31年3月末に、石巻市内仮設住宅循環線は令和元年9月に廃止された。 平成23年9月から順次運行を開始した仮設住宅パスについては、低運賃での運行により、被災者支援を図ることができた。 震災の影響により、住民ニーズ等は大きく変化し、地域ごとの交通課題も変化していることから、今後は、持続可能な公共交通体系構築に向けて、ニーズや課題を適切に把握したうえで、運行内容の見直と実施するとともに、行政、交通事業者、地域住民が連携しながら、地域の実情に最適な交通体系を検討していく。 (単位:円 予算の執行状況 予算額 決算額 決算額 法算額の財源内訳				者の負担軽減が図られ 路線: 石巻市内仮設住	にるとと 名 宅循環:	€ 1		<u>-</u> -	-ズに対応し H30 用者数 9,434人	た生活 便数 1,	交通を 数 464便	·確保 ⁻	する 用者	こと 数	ができ マ1	きた。 便数		主宅入原
※ 仮設住宅の解消に伴い、河北地区仮設住宅線、桃生地区仮設住宅線は平成31年3月末に、石巻市内仮設住宅循環線は令和元年9月に廃止された。 平成23年9月から順次運行を開始した仮設住宅パスについては、低運賃での運行により、被災者支援を図ることができた。震災の影響により、住民ニーズ等は大きく変化し、地域ごとの交通課題も変化していることから、今後は、持続可能な公共交通体系構築に向けて、ニーズや課題を適切に把握したうえで、運行内容の身直しを実施するとともに、行政、交通事業者、地域住民が連携しながら、地域の実情に最適な交通体系を検討していく。 (単位:円 決算額の財源内訳 予算額 ・ 決算額の財源内訳 「単位:円 ・ 大算額の財源内訳 「単位:円 ・ 大算額の財源内訳 ・ 「単位:円 ・ 大算額の財源内訳 ・ 「単位:円 ・ 大算額の財源内訳 ・ 「単位:円・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				者の負担軽減が図られ 路線: 石巻市内仮設住 河北地区仮設住	いるとと 名 宅循環i 宅線	€ 1		<u>-</u> -	-ズに対応し H30 用者数 9,434人 5,987人	た生活 便数 1,	交通を 女 464便 735便	·確保 ⁻	する 用者	こと 数	ができ マ1	きた。 便数		主宅入居
を図ることができた。 震災の影響により、住民ニーズ等は大きく変化し、地域ごとの交通課題も変化していることから、 今後は、持続可能な公共交通体系構築に向けて、ニーズや課題を適切に把握したうえで、連行内容の身 直しを実施するとともに、行政、交通事業者、地域住民が連携しながら、地域の実情に最適な交通体系 を検討していく。 (単位:円 決算額の財源内訳 予算の執行状況 「単位:円 ・ 大算額の財源内訳 「単位:円	成		果	者の負担軽減が図られ 路線: 石巻市内仮設住 河北地区仮設住 桃生地区仮設住	いるとと 名 宅循環: 宅線 宅線	€ 1		利	H30 用者数 9,434人 5,987人 4,291人	た生活 便数 1,	交通を 女 464便 735便 976便	·確保 ⁻	する 用者 4,9	こと 数 942人 -	ができ	便数	744便 — —	主宅入原
予算額 決算額 決算額の財源内訳 国(県)支出金 地方債 その他 一般財源	成		果	者の負担軽減が図られ 路線2 石巻市内仮設住 河北地区仮設住 桃生地区仮設住 合計 ※ 仮設住宅の	にるとと 名 宅稿環 字線 解消に	も 線 伴 じ	= \(\)	利	H30 H者数 9,434人 5,987人 4,291人 19,712人 地区仮設住	た生活 便数 1, 3, 宅線、	交通を 女 464便 735便 976便 175便 桃生地	利	する 用者 4,9	こと 数 942人 - 942人	ができ マ1	便数	: 744便 <u>-</u> 744便	
予算額 決算額 国(県)支出金 地方債 その他 一般財源		こ係る言		者の負担軽減が図らえる。	とと 電線	もははいいます。	 は が /ol>	二一利 河令 した はない はない はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんし	H30 H30 9,434人 5,987人 4,291人 19,712人 地区の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	た生活 便数 1. 3. ネ線さす マに、 地ズ	女 464便 735便 976便 175生地 いたご課題	区 (低) (五) (五) (五) (五) (五) (五) (五) (五) (五) (五	す 用 4.9 賃 課に	こと 942人	ができる。	きた。 便数 は いる な ここで	: 	た、
国(県)文出金 地方債 その他 一般射源		こ係る言		者の負担軽減が図らえる。	とと 電線	もははいいます。	 は が /ol>	二一利 河令 した はない はない はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんし	H30 H30 9,434人 5,987人 4,291人 19,712人 地区の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	た生活 便数 1. 3. ネ線さす マに、 地ズ	交 女 444年 便 便 便 便 便 せ は と の に に と の に の に に の に に に に に に に に に に に に に	区仮に運通切が	す 用 4.9 で	こ 数 942人 942人 の 変し域の 変し域	ができる R1 よ 本 本 で に し て う 実 性 た り 実 り れ り り 実 り れ り ま り れ り ま り れ り ま り れ り ま り れ り れ	きた。 便数 は いる な ここで	: 744便 一 便 一 一 一 便 で	に、 者 支 支 ら、の を 通 体 系 の を 系 の を る 、 の を る る り る り る り る り る り る り る り る り る り
4, 347, 000 4, 346, 388 4, 346, 388	成果に		評価	者の負担軽減が図られ ・	よ 名 宅宅宅 解住 欠 住共に 保持に な 住共に 不 は 民	もは線には緩いては、一人は線には、一人は線には、一人は線には、一人は線には、一人は、一人は、一人は、一人は、一人は、一人は、一人は、一人は、一人は、一人	こ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	二 利河令 し 計算を通	H30 H30 9,434人 5,987人 4,291人 19,712人 地区の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	た生活 便数 1. 3. ネ線さす マルズ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	交 女 444年 便 便 便 便 便 せ は と の に に と の に の に に の に に に に に に に に に に に に に	区仮に運通切が	す 用 4.9 で	こ 数 942人 942人 の 変し域の 変し域	ができる R1 よ 本 本 で に し て う 実 性 た り 実 り れ り り 実 り れ り ま り れ り ま り れ り ま り れ り ま り れ り れ	きた。 便数 は いる な ここで	: 744便 一 便 一 一 一 便 で	に、 者 支 支 ら、の を 通 体 系 の を 系 の を る 、 の を る る り る り る り る り る り る り る り る り る り
	成果に		評価	者の負担軽減が図られ ・	よ 名 宅宅宅 解住 欠 住共に 保持に な 住共に 不 は 民	もは線には緩いては、一人はないでは、一人は終いでは、一人はないでは、一人はないでは、一人はないでは、一人はないでは、一人はないでは、一人はないでは、一人はないでは、一人はないでは、一人はないでは、一人はないでは、一人はないでは、これは、一人はないでは、これは、一人はないでは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これ	こ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	二 利河令 し 計算を通	H30	た生生活 (大生) (大生) </td <td>交通 を 女 444年 (</td> <td>区 (低 運 通切が 決 算 名</td> <td>す 用 4.9 で</td> <td>こ 数 942人 942人 で も握地 財源 原</td> <td>ができる。</td> <td>きた。 便数 はいる まいる まいる まいる まいる まいる しょく しょく しゅうしゅう しゅう</td> <td>744便 一 744便 一 744便 33月末 被災と行な。 (単</td> <td>に、 者 か内交通 援 いの体系 任 : 円</td>	交通 を 女 444年 (区 (低 運 通切が 決 算 名	す 用 4.9 で	こ 数 942人 942人 で も握地 財源 原	ができる。	きた。 便数 はいる まいる まいる まいる まいる まいる しょく しょく しゅうしゅう しゅう	744便 一 744便 一 744便 33月末 被災と行な。 (単	に、 者 か内交通 援 いの体系 任 : 円

予		2	款	総務費		総	第	章			復	_	(1)	みんなでいまちつ	ご築く災害に強 づくり
算科		1	項	総務管理	費	合計	第	節			興計		(1)	新たな『	ち災体制の構築
目		27	目	東日本大	震災関係費	画	()			画		(4)	震災記録	最の継承
		一シ	,		P 157	中	事	業	慰霊碑整	備事業費					
事	業〓	— I	:	001-10	4-002-00302	事	業	名	慰霊碑整	備事業					
目的及	支び :	事業	内容		大震災で犠牲と	となっ	た方々	々をi	追悼する た	:め、慰霊	碑を建立す	する。			
取;	組	実	績	・北上勝年ロ勝位の ・北上勝年 ・北北勝年 ロ勝姫 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ポープ・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス	龙	或務 を	年平 置年年 系置令 1月3 に月月 間、2	1年度に総 牡鹿地区 関係機関と を 年度に繰	⊌越 るの委託事 調整型し、 いまで は は 数 は 数 は 数 は 数 は 数 は 数 は 数 は り り り り	業者を選え	を選り	Ē		
				本庁地	区慰霊碑設置へ	、向け、	、事	業の通	生捗が図ら 成果指				\±		
					区分	目	標値		実績	(完成地区		1	達成	(平	
					H 29		2地[区	1地区	北上地区 ※雄勝地				50.0%	
成			果		H30		2地[区	2地区	雄勝地区 牡鹿地区			1	00.0%	
					R1		1地[区	0地区	※本庁地 ※事業者	凶繰越 の選定完了	7		50.0%	
						<u> </u>									
成果	に係	る記	平価	本庁地		に 推進 (こあれ	たつて	には、石巻	南浜津波	復興祈念な	.園.	内に設	置するこ	こいる。 とから、公園整 きを図る必要が
															(単位:円)
				₹.	算額	٤	中算額	百			決算	額の	財源	内訳	
予算	の幇	行り	忧況	7	开识	7	八开创	ж	国(県	!)支出金	地方债	ŧ		その他	一般財源
•									_				1-		

予	2	款	総務費	総	第	章			復	(1)	みんなで いまちづ	築く災害に強 くり
算科	1	項	総務管理費	合計	第	節			興計	(1)	新たな防	災体制の構築
目	27	目	東日本大震災関係費	画	()			画	(4)	震災記録	の継承
	₹施計區 載ペー		P 157	中	事	業	震災遺構整備事業	業関係費				
事	業コー	・ド	001-104-002-01202		業		震災伝承事業〔征					
目的及	ひ事事	業内容	東日本大震災からのデータ」という。)を 紡ぐ震災伝承活動を展 環境基盤の構築を実施	舌用した 骨するた	<u>:</u> 「漂 :め、	災の オー	見える化」を図り プンデータ事業と	リ、震災≀ ∶も連携↓	に対す [。] した利	る正しに 舌用促進	\理解と未 ₤のための	来のいのちを データ整備と
取	組実	全	データを活用した環境を活用した環境を活用がシークをにより、	備一隻・たし本管、 デモ業の決異震たに環ス 一種務の近り災一寸境川 タ気	分別にはいる。	な ごの備この記 体体の ブ有済リ族え デ系	に事業体系整理 ク」等を参考とし 性の検証 ・データによる震 ング(アンケート 。 、今後のデータ ・クの付属情報): ごとに整理	」た災害; 災発災後、)調査(量を考慮 から、内	対応業のユーの実施した保む	務の事業・スケー・管環境の	集体系整理スのとり ₹ のとり ₹ のとり ₹ でままままままままままままままままままままままままままままままままままま	を実施 まとめ 施 ・ブック」の
成		果	令和元年本 ・一の整備が整備が を備がを を構作、 を一のでませた。 がるのでませたとして がるできたとした。 では、 では、 では、 でもいる。 では、 でもいる。 では、 でもいる。 では、 でもいる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	を 一と 1話 1話 15 15 15 16 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	たい一岩治用 現上	語広い本利の = 22の は を を を に に に に に に に に に に に に に	震災伝承の取組み 大震災伝承の緊急対点 活用が震体へことが 高期の震ない 高いで で を は で を を を と で を で を の に の に の に と の に と の に と の に と の に と の に と の に と の に と る に る と る と る と る と る と る と る と る と	が可能。 なから応え るとしゃ ができ、	となる! 急復旧! 促進し! ジデー	環境整備 期(発災 震災に対 タの利記	情が図られ を直後から 対する正し ま用に関す	た。 7日) における い理解につな るアンケート
成果	に係る	評価	データの利活用が促 は、データを活用する 確認できた。 震災当時の状況や復 体としての責務であり 災伝承活動につなげて	ことで被 退過程等 その責	数災当 ≨を正 責務を	時の しく 果た	状況を詳細に分析 発信し理解につな すためには保有す	f・検証 なげること けるデータ	できる: とは多 タの環	効果等ラ くの支援 境整備を	データ利活 受をいただ	用の有用性がいた被災自治 め効果的な震
			Г						·+ #	~ D ''T '	h=n	(単位:円)
予算	の執行	状況	予算額	ž	央算客	頂		1		の財源内		60.51.55
			10,000,000		0	460 /	国(県)支出金	地	方債		その他 7. 568. 000	一般財源
			10, 000, 000		9,	460, (00				, 500, 000	1, 892, 000

	_									
予	2 款	総務費	総	第	章		復	(1)	みんなで いまちづ	築く災害に強 くり
算科	1 項	総務管理費	合計	第	節		興計	(1)	新たな防	災体制の構築
目	27 目	東日本大震災関係費	画	()		画	(4)	震災記録	の継承
	実施計画 引載ページ	P 156	中	事	業	震災広報関係費				
事	業コード	001-104-001-00301	事	業	名	震災記録収集整理	事業〔復興	基金〕		
目的	及び事業内容	震災の記録を保存し、 の一助とする。	復興·	∿0ì	道のり)をデジタルア ーカ	イブ等とし	て後世に	伝え、今後	後の防災事業等
取	組実績	1 震災記録写真、動画 「東日本大震災関連庁内のデジ 震災関連連済料の主 震災関連連済内の大震災 高東日本時、当時の大震災岸状の方々から、当時のの復興を 経験がある。 4 震災関連のの復興を (1) R1.6.22・23 総合 (2) R1.7.26 (2) R1.7.26 (3) R1.10.6~14 部立 (5) R1.3.8 ホーマッ	カ タデ レ域等 興 写演が川 イ ルジ ッは貴 状 真運気が市 で 無動園が、	宮 ・ル・ロ呂重 ・ル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	」 (記0)正 す ()ト東人に メ 録名言 る ししオ権	て震災記録写真を介 タデータ化 7,550년 の収録 A及び発災直後から B録を収録した。 パネル写真 (20枚) ルのまき復興マラソ リーグ野球大会) 下大震災パネル展示 講座)	生)を行った 当市の復旧 を製作した ン)	・復興支	援に尽力し	いただいた5名
成	果	震災に関する資料の現 で、資料の収集や整理を 選貨サーレッションで、 で、資料の収集のは、これ で、で、で、これ 側の両ので、で、これ 側の両で、で、これ は、これ ので、これ ので、これ で、これ で、これ で、これ で、これ で、これ で、これ で、これ	進録に はまえて それまる でいまる でいまる でいまる でいまる でいまる でいまる でいまる でい	る業かにから	と実験 が実験が言い	きた。 他により、発災直後 検者とは違う視点からた。 成」や震災関連写真	の混乱するいらの証言記	現場で被 録として 示する機	災地の支援 収録し、記 会を設け、	爰活動に尽力さ 爰災を内側と外 石巻市内での
成果	とに係る評価	震災関連の紙媒体資料 会後も継続して復興過程 震災力度なの口述的 の声と自みな経集重要なた な取組みとして また、収集資料展やり 災の風化防止とを後世へ の経験・教訓等を後世へ	を記れる。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	録いて はいて まま 要解で	で に を 経 解 を を 解 を を 解 を を 解 を を 解 を を 解 を	後関連資料の収集・ 書面や資料だけで ることで、震災を後 続する必要がある。 誰については、依頼 かる効果に繋がるた	整理を行うは伝わりきせに伝え来	必要があ らない発 来のいの 体等へ貸	る。 災直後の∜ ちを紡ぐ別 し出しを行	犬況を、被災者 震災伝承の重要 テうことで、震
							—————————————————————————————————————	通の財源	 内訳	(半世・円)
予算	[の執行状況	予算額	ä	除算象	Į	国(県)支出金	地方債		その他	一般財源
		5, 000, 000		4,	877, 4				4, 877, 433	
						1				

予	2	款	総務費	総	第	章		,	復	(2)	市民の不安での暮らし	を解消し、これま を取り戻す		
算 科	1	項	総務管理費	合 計	第	節		1	興計	(1)		活・健康支援 医療の確保		
目	27	目	東日本大震災関係費	画	()			画	(1)	被災者へ	の生活支援		
	₹施計區 載ペー		P182	中	事	業	震災広報関係費							
事業コード 002-101-003-00535					業	業 名 全国避難者市報等郵送事業〔復興基金〕								
目的及	なび事績	*内容	東日本大震災により初活再建情報を伝えるため					(ont	さ市民	へ行政	情報や復興	眼関連情報、生		
取;	組実	績	震災により被災し、市 ・1回平均・・111通 ・郵送物・・・市報 ・郵送方法・・ゆう 年度 日27 日28 日29 日30 R1 ※ 郵送件数は、1回	i 、県政 メール 郵送	だよ 2,0 1,5 1,2 8 1 リの ^至	り、 31件 80件 44件 11件 平均件	議会だより、社協だ 	より						
成		果	市の広報紙を通じて名組みであり、市外で生活											
成果	に係る	評価	本事業は震災により都要な情報を提供するため 要な情報を提供するため 復興公営住宅への入見 性について検討する必動	継続し	して!	実施し	ている。							
								油	1 質 頞	の財源に	—————————————————————————————————————	(単位:円)		
予算	の執行	状況	予算額	Ħ	等額	Ą	国(県)支出金	—————————————————————————————————————			その他	一般財源		
			345, 000			144, 6		ار ت	, 154	+ '	144, 641	12.5.77.11IIS		

				_							
予算	2	款	総務費	総	第	章		復	(1	1) みんなで いまちづ	築く災害に強 くり
科	1	項	総務管理費	合計	第	節		興計	(2	2) 地域の力	でみんなで守
目	27	目	東日本大震災関係費	画	()		画	(1	1) 地域コミ 生支援	ュニティの再
	€施計 載ペ-		P 158	中	事	業	東日本大震災犠牲	者追悼式関	係費		
事	業コー	- F	001-201-001-00303	事	業	名	東日本大震災犠牲	者追悼式〔	復興基	基金〕	
目的及	及び事	業内容		主、発 原	展を遠	遂げて	いく決意を示す た	め、市主催	崖の追悼	悼式を開催する	ŧo.
			2 場所 河北総合セン	場にお	ける()	自由午前	献花とした。 9時~午後4時 ※※				
取:	組 舅	ミ 績	(1) 河北総合セン: し、献花を受り (2) 震災で犠牲と	ナ付け: なられ:	た。 た方	々の後	易に、市内7か所に 即遺族(2,301名)に 所聞広告、ホームペ	案内状を送	付した	-0	
			た。 市外在住の御道	貴族(5	17名)	には	、追悼式規模縮小()様子を河北総合セ	に係るお知	らせを	送付し、周知	
成		果	新型コロナウイルスの 典を取りやめることで た方々に対し、哀悼の意 〈参列者数〉 献花場 河北総合セ 市役所4階庁 雄勝館会 遊楽総合と 牡鹿保健福	な意 ン『所 所療祉た棒 一室庁 セセン	がげ 舎 タタ計	就花は と 4 1 1 1,5	易を設置して献花を あに、復興への決意 150 人 191 人 14 人 13 人 03 人 00 人 43 人	受け付ける	うこと にができ	こより、震災 <i>の</i> 。 きた。	犠牲となられ
成果	に係る	· 評価	東日本大震災の犠牲 生、発展を遂げていく》 なお、令和3年度以降	快意を	示すた	:め、	継続して本事業を	実施してし	くこと	ととしたい。	: 3 .
											(単位:円)
			予算額	*	央算額	1		決算	額の則	才源内訳 ————————————————————————————————————	
予算	の執行	状況	2 21.100	"		-	国(県)支出金	地方債	t	その他	一般財源
											72-27-2 1112-

予	2	款	総	務費	総	第1章	ともに創る協働の	まち	復	()					
算科	3	項	戸	籍住民基本台帳費	合計	第3節	市民満足度の高い サービスを提供す	行政 る	興計	()					
目	1	目	戸	籍住民基本台帳費	画	(2)	行政サービスの質 上を図る		画	()					
				P17	中	事 業	窓口証明関係費								
事	1 目 戸籍住民基本合帳報				事	事 業 名 窓口業務民間委託事業									
			1 2	委託料 148, 1 委託業務内容 (1) 証明書発行窓口 (2) 印鑑登郵送請 (3) 公用、郵送請 (4) 住基異動入力が (5) マイナンバーフ	る 養育,720,62 務元,720,62 720,62 30,192 第業理ード 型型・	もに、正規 する費用 5月1日~ 18円 年8月1日~ 円。内、そ	職員及び非正規職	は員を肖	川減する		窓口業務(の効率化及び市			
				窓口業務の効率化及 できた。	び市民・	サービスの)向上が図られると	ともに	二、職員	員及び非	正規職員	を削減すること			
					び市民 ⁻			: Ł もに	二、職員	員及び非	正規職員 [:] T	を削減すること			
				できた。			0向上が図られると 以果指標 実績等	ともに		員及び非 	正規職員:	を削減すること			
				できた。 委託業務数		Д	大果指標 実績等	(ともに) (6業務)]	を削減すること			
				できた。 委託業務数 区分		万 目標値	大果指標 実績等]	を削減すること			
БŮ			が 1	できた。 委託業務数 区分 R1 正規職員の削減	E	月標値 6業 月	文果指標 実績等 務 之果指標		達月	艾率等 100%]	を削減すること			
成		果	が 1	できた。 委託業務数 区分 R1 正規職員の削減	E	月標値 6業 月標値	文果指標 実績等 務	6業務	達月	戊率等 100% 戊率等		を削減すること			
成		果	が 1 2	できた。 委託業務数 区分 R1 正規職員の削減 区分 R1	E	月標値 6業 月標値	文果指標 実績等 務 之果指標		達月	艾率等 100%		を削減すること			
成		果	が 1	できた。 委託業務数 区分 R1 正規職員の削減 区分 R1 非正規職員の削減	E	月標値 6業 月標値 (集指標 実績等 務 集指標 実績等	6業務	達原	戊率等 100%		を削減すること			
成		果	が 1 2	できた。 委託業務数 区分 R1 正規職員の削減 区分 R1	E	月標値 6業 月標値 (文果指標 実績等 務	6業務	達原	戊率等 100% 戊率等		を削減すること			
成		果	が 1 2	できた。 委託業務数 区分 R1 正規職員の削減 区分 R1 非正規職員の削減	E	月標値 6業 月標値 1標値 1標値	集指標 実績等	6業務	達原	戊率等 100%		を削減すること			
	に係る		が 1 2 3	できた。 委託業務数 区分 R1 正規職員の削減 区分 R1 非正規職員の削減	の民主を	月標値 6業 月標値 (月 月標値 1/2 により向か。)	選集指標 実績等 務 選集指標 実績等 人 選集指標 実績等 人 窓の口葉務でスムー 窓がにより、人大のでより、人人ではより、人人で表により、大人では大していて、実務が増大していて、またのでは、またの	6業務 2人 15人 こついて	達定達施達を達える。	式率等 100% 式率等 -% 大率等 125% パ可能と 或字令後の	なり、来 <i>i</i> が、マイ・	庁者の待ち時間			
	に係る		が 1 2 3	できた。 委託業務数 区分 R1 正規職員の削減 区分 R1 非正規職員の削減 区分 R1 非正規職員の削減 区分 R1 非正規職員の削減 区分 R1 非正規職員の削減 スティースの表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の	の民主を	月標値 6業 月標値 (月 月標値 1/2 により向か。)	選集指標 実績等 務 選集指標 実績等 人 選集指標 実績等 人 窓の口葉務でスムー 窓がにより、人大のでより、人人ではより、人人で表により、大人では大していて、実務が増大していて、またのでは、またの	6業務 2人 15人 こついて	達定達施達を達える。	式率等 100% 式率等 -% 大率等 125% パ可能と 或字令後の	なり、来 <i>i</i> が、マイ・	庁者の待ち時間 ナンバー業務及			
	に係る		が 1 2 3	できた。 委託業務数 区分 R1 正規職員の削減 区分 R1 非正規職員の削減 区分 R1 非正規職員の削減 区分 R1 非正規職員の削減 区分 R1 非正規機員の削減 区分 R1 非正規機員の削減 区分 R1 非正規が関連を対象があるよりのであるよりのである。	の民非正法に の民非正法に	月標値 6業 月標値 (月月 1標値 1/2 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	選集指標 実績等 務 選集指標 実績等 人 選集指標 実績等 人 窓の口葉務でスムー 窓がにより、人大のでより、人人ではより、人人で表により、大人では大していて、実務が増大していて、またのでは、またの	6業務 2人 15人 -ズなす こついてと	達用達用	式率等 100% 式率等 -% 大率等 125% パ可能と 或字令後の	なり、来が が、 数削 減	〒者の待ち時間 ナンパー業務及 咸が困難と推測			
成果	に係るの執行	評価	が 1 2 3	できた。 委託業務数 区分 R1 正規職員の削減 区分 R1 非正規職員の削減 区分 R1 非正規職員の削減 区分 R1 非正規職員の削減 区分 R1 非正規職員の削減 スティースの表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の	の民非正法に の民非正法に	月標値 6業 月標値 (月 月標値 1/2 により向か。)	選集指標 実績等 務 選集指標 実績等 人 選集指標 実績等 人 窓の口葉務でスムー 窓がにより、人大のでより、人人ではより、人人で表により、大人では大していて、実務が増大していて、またのでは、またの	6業務 2人 15人 つること	達用達用		なり、来が が、 数削 減	〒者の待ち時間 ナンパー業務及 咸が困難と推測			